

令和6年度版
病 院 年 報



市立大洲病院

序

当院において令和6年度は「患者様に安全・安心な医療を提供するために」をキーワードに、質の高い医療の提供と医療安全対策の更なる推進、病院施設整備の計画的な修繕・改修等を重点目標に掲げ、診療体制の充実・強化と、地域に必要とされる病院としての機能強化を図るため、様々な取り組みを行ってまいりました。

当院を取り巻く経営環境は、前年度と比べ患者数が増加したこと等により、病院事業収益が増加となったものの、職員給与費の増加、患者数増加等に伴う材料費のほか、原油価格の高騰に伴う光熱水費や燃料費の増加により、非常に厳しい決算状況となりました。

このような中、より一層の経営強化と持続可能な医療体制の構築を目指して、令和6年度を初年度とする市立大洲病院経営強化プランをスタートさせ、収入増加・確保に向けた取組のほか、経費削減・抑制に向けた取組、人員確保・離職防止に向けた取組等を推進しているところです。

また、高齢化の進展により増加する在宅医療需要に対応可能な医療体制の構築を目指し、介護が必要な高齢者や療養者の在宅での療養が継続できるよう、訪問看護ステーションを設置し、関係機関と連携を図り、総合的な看護サービスの提供に努めています。

今後におきましても、地域住民の皆様信頼される病院として、医療と福祉の連携をさらに強化し、患者様が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりに取り組むとともに、当病院の基本理念でもある良質で安全・安心な医療を提供し地域社会に確実に貢献できるよう、公立病院の使命をたえず持ち続け、地域医療を支えるため、職員一同全力を傾注してまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年(2025年)12月

市立大洲病院
院長 佐藤 武司

目	次
I 病院事業の概要	10 臨床工学室業務の状況 ----- 31
市立大洲病院の理念と基本方針 ----- 1	11 診療情報管理室業務の状況 ----- 31
1 市立大洲病院中長期経営計画 ----- 2	12 総合患者支援室業務の状況
2 令和6年度重点目標 ----- 3	(1) 診療情報提供件数 ----- 31
3 市立大洲病院の概要 ----- 5	(2) 診療情報受付件数 ----- 32
4 沿革 ----- 6	(3) 退院支援状況 ----- 32
5 組織 ----- 10	(4) 患者相談件数 ----- 32
6 職員数 ----- 11	13 医療安全対策室業務の状況
7 施設の概況	(1) 事故報告件数 ----- 32
(1) 土地・建物・附属設備 ----- 12	(2) ヒヤリ・ハット報告件数
(2) 医療機器 ----- 13	ア 部署別 ----- 33
8 施設基準 ----- 17	イ 領域別(看護部のみ) ----- 34
II 業務の概要	14 訪問看護ステーション業務の状況 -- 35
1 患者の概況	15 その他の業務の状況
(1) 診療科別患者数 ----- 19	(1) 外来医療看護 ----- 35
(2) 年齢別患者数 ----- 19	(2) NST実施状況 ----- 35
(3) 市町村別患者数 ----- 19	16 主たるクリニカル・インディケーター 36
(4) 利用患者の動向 ----- 20	III 研究発表等
(5) 月別・診療科別患者数	1 学会発表 ----- 39
ア 入院 ----- 21	2 原著論文等発表 ----- 40
イ 外来 ----- 22	3 研究会発表 ----- 40
ウ 月別1日平均患者数 ----- 22	4 講演、講義、座長 ----- 41
エ 診療科別1日平均患者数 ----- 23	IV 院内各委員会・研修会の概要
オ 月別・診療科別外来初診患者数 -- 23	1 委員会一覧 ----- 45
カ 月別病床利用率 ----- 24	2 各委員会の活動状況 ----- 47
キ 月別・診療科別平均在院日数 ---- 24	3 院内研修活動の状況 ----- 59
(6) 救急患者の取扱状況 ----- 25	V 看護部の活動概況
(7) 総合健診の状況 ----- 26	1 看護部の理念・基本方針・目標 ----- 61
2 手術の状況	2 部署別目標 ----- 61
(1) 月別・診療科別手術件数 ----- 27	3 研修実績
(2) 月別麻酔件数 ----- 27	(1) 院内研修実績 ----- 62
3 内視鏡検査件数 ----- 28	(2) 院外研修実績 ----- 63
4 人工透析業務の状況 ----- 28	(3) 教育研修実績 ----- 64
5 薬剤室業務の状況	4 その他活動実績 ----- 64
(1) 調剤業務の状況 ----- 29	VI 訪問看護ステーションの活動状況
(2) 薬剤管理指導の状況 ----- 29	1 訪問看護ステーションの概要 ----- 69
(3) 薬品の状況 ----- 29	2 沿革 ----- 69
6 検査室業務の状況	3 研修実績 ----- 69
(1) 各種検査の状況 ----- 29	4 その他活動実績 ----- 70
(2) 血液製剤使用量 ----- 29	VII 財務の概要
7 放射線室業務の状況 ----- 30	1 損益状況 ----- 71
8 リハビリテーション室業務の状況 ---- 30	2 貸借対照表 ----- 72
9 栄養管理室業務の状況	3 収益費用明細書 ----- 73
(1) 患者給食取扱食数 ----- 30	4 資本的収支明細書 ----- 75
(2) 個人病態別栄養指導数 ----- 30	5 経営分析に関する調 ----- 76
(3) 栄養情報提供書実績 ----- 30	

I 病院事業の概要

市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全・安心な医療を提供し、地域社会に貢献します。

医療は患者様と医療者の信頼関係の上に成り立つものであり、患者様の主体的な参加により医療を行う必要があると考えています。市立病院(自治体立)は「地域医療の確保という公共の福祉の増進」及び「常に企業的经营性の発揮」が使命とされており、職員一人一人が日々研鑽に努め、将来にわたり患者様に良質で安全安心な医療を提供することにより、患者様に選ばれ、地域に求められる病院となるよう全力を傾注してまいります。

市立大洲病院の基本方針

① 患者様の権利を尊重し、心のこもった医療を実践します。

患者様は、一人の人間として医療現場においても、その生命、身体、人格が尊重される権利を有しています。これら患者様の権利と意思を尊重し、患者様を自分の家族と思い、心のこもった温かみのある医療を行います。

② 関係機関との連携を密にし、地域医療の充実に努めます。

病診連携、病病連携のほか保健所、ケースワーカー、介護施設、社会福祉施設との連絡調整を図るなど、医療機関相互の連携や機能分担を推進し、患者様のニーズにあった対応を行います。

③ 職員一人一人が主体的に専門能力の研鑽に努め、質の高いチーム医療を提供します。

日々進歩する医療技術に対応するためには、職員一人一人が自己啓発・自己研鑽によって、仕事に必要な知識や技能を身につけ、能力を伸ばし、またこれを最大限に発揮することが重要です。このため組織としても積極的に支援を行います。

また、医療の質の向上と患者様一人一人に対するきめ細かい治療と支援が求められており、専門的な知識や技術をもってチーム医療を行います。

④ 効率的で安定した経営基盤の確立に努め、健全な病院経営を目指します。

市立病院(自治体立)の使命の一つに「常に企業的经营性の発揮」があり、経営の健全化が強く求められています。このことは療養環境等患者様へのサービスに直結する問題であり、安定した経営基盤を確立するため、「市立大洲病院改革プラン」に基づき計画的な取り組みを行います。

⑤ 働き続けられる魅力ある職場環境づくりに努めます。

患者様に信頼されるためには、まず職員が病院の中で本来の力を発揮でき達成感が得られ、互いに信頼し合い認め合う職場環境であることが重要です。このため、常に職員の心と身体健康管理にも気配りをし、病院全体で働きやすく働きがいのある職場環境の改善に取り組みます。

〔平成15年5月 制定〕

〔平成22年6月 改正〕

1 市立大洲病院中長期経営計画(将来目標)

平成24年4月11日 経営管理会議承認

平成28年3月10日 最終改正

公立病院として、安定した経営の下で住民に対し良質な医療を継続して提供していくため、将来目標としての「市立大洲病院中長期経営計画」を次のとおり策定する。

(1) 病院経営に関すること

- 病院経営の健全化に向け、病棟再編など収益増と費用削減のための様々な取組みを強力に推進し、損益収支の均衡を目指す。
- 充実した医療サービスを提供するため、病院機能と業務量を考慮した適正な定員管理に努めるとともに、医師をはじめとした医療従事者の確保・養成並びに負担軽減を推進する。
- 愛媛県地域医療構想に基づき、病床機能の分化・連携の推進、在宅医療の充実等、圏域内のバランスのとれた医療提供体制の充実を図る。

(2) 医療環境に関すること

- 地域医療の充実確保のため、医療情報システムを活用した病病・病診連携に資する地域医療情報ネットワークシステムの構築を推進する。
- 公立病院として政策医療を担うとともに、従来の「病院完結型」から「地域完結型」医療体制への移行を目指し、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。
- より安全・安心で質の高い医療を提供していくため、チーム医療をはじめとする各種施策を展開するとともに、医療安全対策及び感染予防対策を推進する。
- 地震などの自然災害や新興感染症及び新型インフルエンザなどの健康危機事象等、不測の事態に迅速に対応しうる危機管理体制の整備充実に取り組む。

(3) 療養・施設環境に関すること

- 患者の視点に立った快適な療養環境の整備と患者サービスの向上に努める。
- 医療機能に直接影響を及ぼす病院施設設備について、計画的な修繕改修を推進する。

(4) 就業環境に関すること

- 適切な人事考課の活用の下、労働関連法令等を遵守した適正な人事・労務管理を推進する。
- 常に職員の心と身体健康管理に留意し、働き続けられる魅力ある職場環境の改善に取り組む。

2 令和6年度 重点目標(年次事業計画)

《キーワード》 =患者様に安全・安心な医療を提供するために=

(1) 病院経営に関すること

- 訪問看護ステーションの円滑な運営
 - ・ 地域住民が住み慣れた場所で安心して在宅療養生活を送れるよう、地域の医師、介護支援専門員等との連携を強化し、高質の訪問看護サービスの提供に努める。
 - ・ 事業実施地域での認知度の向上と新規利用者の獲得に努める。
- 診療報酬制度への対応
 - ・ 令和6年度に改訂される診療報酬制度について、当院の持てる医療資源が最大限活用できるよう現体制の維持と新たな施設基準の取得に向けた体制整備を行う。
- 公立病院経営強化プランの着実な取り組み
 - ・ 令和5年度に策定した病院経営強化プラン(令和6年度～令和9年度)を適正に管理し、地域の公立病院として、地域医療の確保・充実を図るとともに、経営の強化に努める。
- 収支均衡に向けた取り組みの推進
 - ・ 病院経営の危機感を全体で共有し、病棟の有効活用と効率的な診療による収益確保及び徹底した固定経費削減による損益改善に取り組む。
- DPC対象病院としての運営内容の充実
 - ・ DPC分析ツールを駆使し、自院の状況と他院とデータを比較し経営分析を行いDPC制度に適応した体制強化を図り、的確なコーディングで収益確保を行う。

2. 医療環境に関すること

- 電子処方箋の導入
 - ・ 既に運用が開始されている電子処方箋について、患者の利便性の向上を図るとともに、医療機関と薬局間の迅速な情報伝達や薬学的管理を行うため、来年度導入に向け準備を進める。
- 地域包括ケアシステム及び地域医療連携ネットワークシステムの運用
 - ・ 地域住民が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活が送れるよう、医療機能の分化・連携を関係機関と協働推進し、より良い「地域包括ケアシステム」の実現を目指す。
 - ・ 地域住民が居宅等において安心して医療が受けられるよう、退院支援・調整(退院前、退院後訪問指導を含む)を強化し、訪問看護ステーションとの連携を図り、看取りなど「在宅医療」の充実に取り組む。
- 質の高い医療の提供
 - ・ 診療体制の充実強化と、地域に必要とされる病院の役割強化を図る。
 - ・ 安心感のある医療を提供するため、患者・家族に寄り添った「コミュニケーション力」向上に取り組む。
- 医療安全対策の更なる推進
 - ・ 安心・信頼の医療提供のため他職種との連携を図り、部署の役割に沿ったリスクマネジメントに取り組むとともに、地元医師会や近隣他院と連携し、地域一帯で医療安全・感染防止体制の強化に取り組む。

○ 災害に強い体制づくりの推進

- ・ 南海トラフ巨大地震をはじめ、原子力災害等に備え、県や近隣の病院・薬局・防災機関とも協力して訓練や体制づくりを進める。特に医薬品等の備蓄について進める。
- ・ 訓練等を通して BCP を見直すなど、緊急時にも対応できる体制の確立を目指す。

○ 感染防止対策の徹底

- ・ 引き続き全職員が一丸となって感染防止対策を実施し、問診や面会の制限など患者・家族の協力も得ながら院内感染を確実に防止するとともに、新たな感染症が発生した場合でも対応できる体制づくりを行う。

3.療養・施設環境に関すること

○ 快適な療養環境の整備

- ・ 医療サービスや接遇の質を高めるための具体的な取り組みを展開し、患者満足度(待ち時間を含む)の向上に努める。
- ・ 地域包括ケア病棟における療養環境の向上に取り組む。

○ 病院施設設備の計画的な修繕・改修

- ・ 医療機能喪失を未然に防ぐために作成した「市立大洲病院施設設備長寿命化計画」に基づき、適切な改修を推進するとともに、「災害に強い病院」としての機能充実を図る。令和6年度においては中央監視盤の更新工事等を行う。
- ・ その他、老朽化した設備のうち実施可能なものから順次改修を行っていく。

4.就業環境に関すること

○ 働き方改革の推進と医療従事職員の負担軽減策の推進

- ・ 病院機能に対応した適正な職員配置に努め、必要に応じた業務形態の見直しを行い、医師をはじめとした医療従事者の負担軽減が図られるよう、各種認定看護師の研修をはじめとする職員の育成や、医療クラークの適正配置などに努める。
- ・ 医師の働き方改革については、時間外労働年960時間以下を維持するとともに、業務の効率化を推進し、総合的な医師の業務負担軽減に努める。

○ 適正な人事労務管理の推進

- ・ 働き方改革にそって、ワークライフバランスの実現に向け適正な労務管理に努める。
- ・ チーム医療を推進するために必要な資格取得や研究活動、職員自身のスキルアップのための関連研修について、積極的に労務、財務両面から支援をする。

○ 職場環境の改善

- ・ 職員の子育て支援に柔軟に対応しうよう「院内保育所よつば」の運営充実に努める。
- ・ 職員の心と身体の健康管理に留意した「メンタルヘルスケア対策」に取り組むとともに、貴重な人材を失うことがないよう「ハラスメント対策」にも組織をあげて取り組む。

3 市立大洲病院の概要

病 院 名	市立大洲病院
所 在 地	〒795-8501 愛媛県大洲市西大洲字ヤスバ甲 570 番地
開 設 者	大洲市長 二 宮 隆 久
開 設 年 月 日	昭和 22 年 2 月 1 日
事 業 管 理 者	谷口 嘉康
院 長 名	佐藤 武司(R7.4.1～)
敷 地 面 積	17,698.85 m ²
駐 車 台 数	350 台
建 物 延 床 面 積	鉄筋コンクリート造4階建 10,813.50 m ² 1階 4,768.75 m ² 外来部門・薬剤室・検査室・放射線室・リハビリテーション室・ 栄養管理室・訪問看護ステーション・事務課 2階 2,313.98 m ² 手術室・中央材料室・人工透析室・2 階病棟(23 室 50 床) 3階 1,668.93 m ² 管理部門・医局・図書室・3 階病棟(23 室 41 床) 4階 1,538.83 m ² 4 階病棟(29 室 51 床)・結核病棟(2 室 8 床) PH 523.01 m ² 中央監視室・電気室・機械室・ボイラー室
1 床 当 り の 面 積	72.0 m ²
許 可 病 床 数	150 床(一般病床 142 床・結核病床 8 床)
病 室 数 (R7.4.1 現在)	77 室 一般病室 75 室(142 床) うち個室 49 室(49 床) 結核病室 2 室(8 床)
診 療 科	11 科
医 師 数 (R7.4.1 現在)	13 人(40 人) ・内科 5 人(5 人) ・外科 2 人 ・皮膚科 (3 人) ・神経内科 (4 人) ・整形外科 2 人 ・その他 (7 人) ・泌尿器科 3 人(2 人) ・リハビリテーション科(兼務) ・産婦人科、小児科 休止 ・眼科 (11 人) ・麻酔科 1 人 ・放射線科 (5 人) ・耳鼻咽喉科 (3 人) ()は非常勤医師を別掲数
看 護 体 系 (R7.4.1 現在)	入院基本料 一般病棟 看護10対1 結核病棟 10対1
給 食 体 系	入院時食事療法(Ⅰ)
指定病院の状況	保険医療機関・救急告示病院・更生医療指定医療機関・第二種感染症指定医療機関・ 被爆者一般疾病指定医療機関・生活保護法指定医療機関・労災保険指定医療機関
特 殊 診 察	人間ドック・人工透析(27 床)・リハビリテーション
職 員 数 (R7.4.1 現在)	正職員 172 名 会計年度任用職員 57 名 計 229 名 (※事業管理者を含む、派遣医師を除く)
施 設 の 特 徴	・中央待合室に床暖房を導入 ・廊下に抗菌性タイルカーペットを導入 ・受付に自動再来受付機2台設置(カードシステム化) ・電子カルテ ・1ベッドに1テレビ、個室に電話、エアコン設置 ・食事は適時適温、夕食は午後6時に配膳 ・デイルーム(患者食堂)設置 ・絵画展示(市民から寄付採納 662 人 117 点) ・医療費自動精算機を導入(令和3年度から稼働) ・マイナンバーカードオンライン資格確認システム導入(令和3年10月から)

4 沿 革

昭和22年 2月	大洲町国民健康保険病院として開設
昭和24年 4月	社会保険大洲病院となる(旧厚生省の所管となる)
昭和35年12月	大洲市国民健康保険病院となる(旧厚生省より移管)
昭和35年12月	一般病床 基準看護1類(4対1) 結核病床 基準看護3類(6対1)
昭和35年12月	病床数変更 一般病床 130床 結核病床 30床 計160床
昭和39年 4月	旧病院移転改築(総工費238,000千円)
昭和39年 4月	名称 市立大洲病院となる(大洲市大洲810-1)
昭和39年 7月	総合病院名称使用承認
昭和42年 4月	病床数変更 一般病床 130床 結核病床 40床 計170床
昭和51年 4月	病床数変更 一般病床 145床 結核病床 40床 計185床
昭和52年 4月	更生医療指定医療機関承認
昭和60年 4月	病床数変更 一般病床 145床 結核病床 26床 計171床
昭和61年 4月	基準病衣貸与開始
昭和63年 6月	市立大洲病院整備審議会設置(移転改築の検討開始)
平成 3年 4月	移転改築事業に着手
平成 4年 1月	愛媛大学医学部の関連病院(医師全員愛大派遣)となる
平成 5年 7月	移転改築工事に着手
平成 5年 8月	一般病床 特1類(I)(3対1) 結核病床 特1類(I)(3対1)
平成 6年10月	一般病床 新看護3対1看護(A)加算 結核病床 新看護3対1看護(A)加算
平成 6年12月	新病院竣工(総工費6,035,000千円)
平成 7年 3月	新病院での診療開始に伴い開設許可廃止(3/31)
平成 7年 4月	開設許可(4/1) 新病院で診療開始 大洲市西大洲甲570番地
平成 7年 4月	病床数変更 一般病床 154床 結核病床 26床 計180床
平成 7年 6月	小児科再開 診療科10科となる
平成 7年 6月	総合病院標榜許可(愛媛県指令大保予第399号)
平成 8年 6月	一般病床 新看護2.5対1看護(A)加算 結核病床 新看護3対1看護(A)加算
平成11年 8月	一般病床 新看護2対1看護(A)加算 結核病床 新看護3対1看護(A)加算
平成12年 4月	一般病棟入院基本料(I)看護2対1(A)加算 結核病棟入院基本料(Ⅲ)看護3対1看護(A)加算
平成14年 5月	平成14年度自治体立優良病院 全国自治体病院開設者協議会並びに全国自治体病院協議会の両会長表彰受賞
平成15年10月	再来患者予約制導入
平成15年12月	市立大洲病院公式ホームページ開設
平成16年 1月	全館禁煙の実施(喫煙コーナーを玄関西側に設置)
平成16年 4月	地域医療連携室・患者相談室設置
平成16年 5月	平成16年度自治体立優良病院 総務大臣表彰受賞
平成16年 6月	訪問看護室設置
平成16年 7月	病院機能評価<Ver4.0>受審[公益財団法人 日本医療機能評価機構]医師不足により認定留保
平成16年10月	管理型臨床研修病院指定

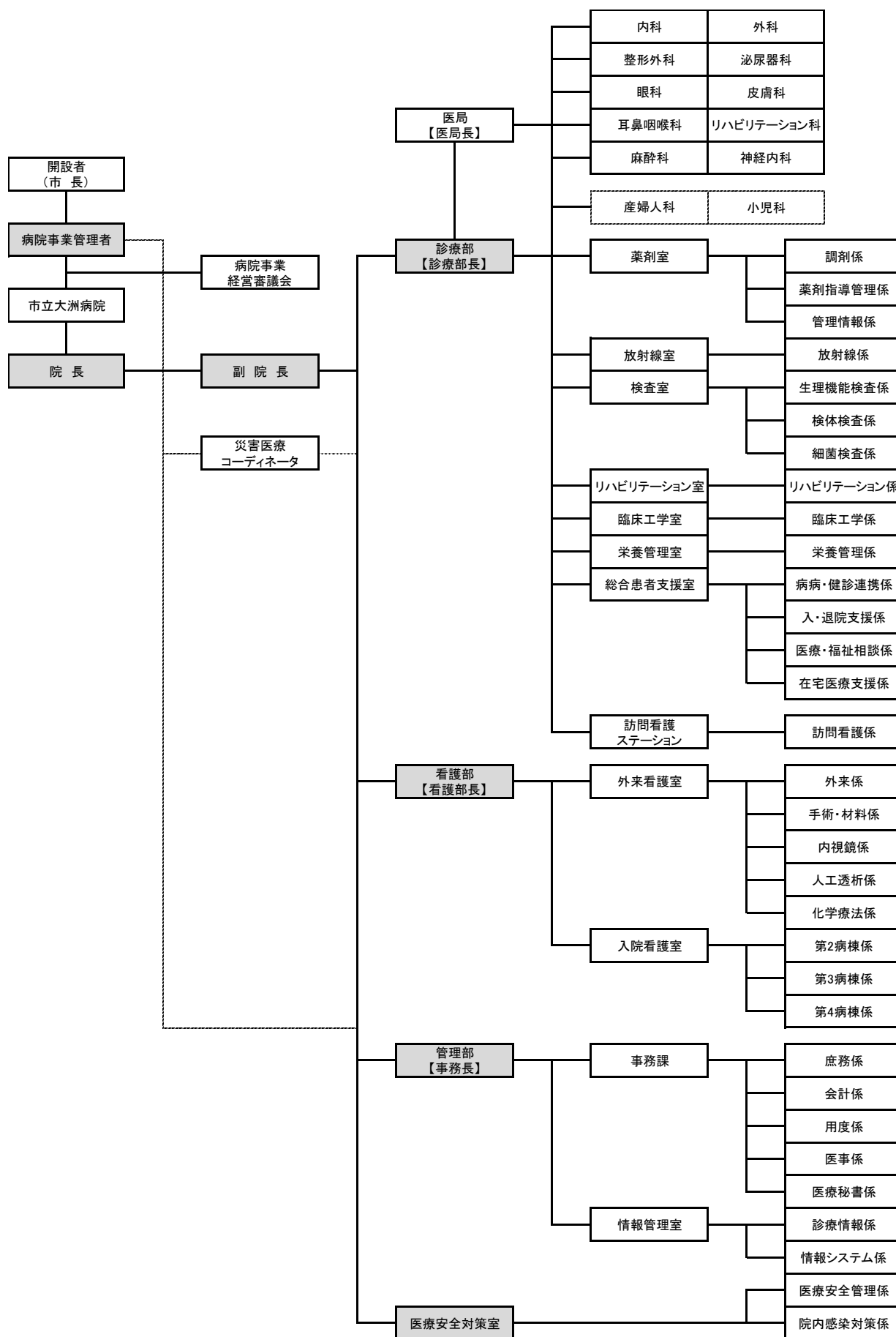
平成17年 1月	市町村合併に伴う開設許可の廃止(1/10)及び開設(1/11)
平成17年 4月	診療録管理室設置(診療情報管理士配置)
平成17年 7月	神経内科診療開始
平成18年 4月	入院基本料(10:1)
平成18年 4月	ナースキャブ廃止
平成18年 4月	医療安全対策室設置(医療安全管理者配置)
平成18年10月	日本医療機能評価認定<Ver4.0>〔公益財団法人 日本医療機能評価機構〕 (期間 H18.10.16~H23.10.15)
平成19年 6月	クリーンベンチ設置(無菌製剤処理加算算定)
平成19年 9月	小児科・産婦人科休止
平成19年11月	化学療法室設置(外来化学療法加算算定)
平成20年 1月	一般病棟&結核病棟入院基本料(7対1)
平成20年 9月	平成20年度栄養関係功労者厚生大臣表彰受賞(特定給食施設)
平成20年 9月	肝臓外来診療開始(第2、第4水曜日)
平成21年 3月	市立大洲病院改革プラン策定
平成22年11月	医療ソーシャルワーカー配置
平成23年 1月	医療クラーク配置(医師事務作業補助体制加算算定)
平成23年 4月	地方公営企業法全部適用(病院事業管理者任命)
平成23年 4月	管理型臨床研修病院指定取消
平成23年 5月	NST配置(栄養サポートチーム加算算定)
平成23年10月	日本医療機能評価認定<Ver6.0>〔公益財団法人 日本医療機能評価機構〕 (期間 H23.10.16~H28.10.15)
平成24年 7月	救急看護認定看護師配置
平成25年 3月	第2次市立大洲病院改革プラン策定
平成25年 4月	広域二次救急受け入れ開始(火曜日夜間帯)
平成25年 7月	病棟再編(2病棟:外科・整形外科、3病棟:泌尿器科・内科、4病棟:内科)
平成25年 7月	感染管理認定看護師配置
平成26年 2月	オーダリングシステム運用開始(電子カルテ一部併用)
平成26年 6月	透析看護認定看護師配置
平成26年10月	一般病棟&結核病棟入院基本料(10対1)
平成27年 5月	一般病棟&結核病棟入院基本料(7対1)
平成27年 5月	地域包括ケア入院医療管理料1(9床)
平成27年 7月	病床数変更 一般病床 151床 結核病床 8床 計 159床
平成27年12月	電子カルテシステム運用開始
平成28年 4月	給食業務委託開始
平成28年 4月	院内保育所「よつば」開所
平成28年 6月	地域包括ケア入院医療管理料1(36床)
平成28年 6月	認知症看護認定看護師配置
平成28年10月	地域包括ケア病棟入院料1(41床)一般病床 142床
平成28年10月	病床数変更 一般病床 142床 結核病床 8床 計 150床

平成28年12月	看護職員夜間配置加算
平成29年 1月	認知症ケア加算2
平成29年 2月	原子力災害医療協力機関
平成29年 3月	市立大洲病院新改革プラン策定
平成29年 4月	認知症ケア加算1
平成29年 4月	日本医療機能評価認定<3rdG:Ver1.1>〔公益財団法人 日本医療機能評価機構〕 (期間 H28.10.16~H33.10.15)
平成29年 4月	眼科手術再開
平成30年 3月	後発医薬品使用体制加算、院内トリアージ実施料
平成30年 4月	DPC対象病院
平成30年 4月	人工腎臓
平成30年 4月	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
平成30年 4月	医療安全対策加算1(医療安全対策地域連携加算1)
平成30年 4月	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算
平成30年 4月	入退院支援加算1(入院時支援加算)
平成30年 5月	感染対策防止加算1(感染防止対策地域連携加算)
平成30年 8月	院外処方開始
令和 元年 6月	肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
令和 2年 4月	腎代替療法指導管理料
令和 2年 4月	救急医療管理加算
令和 2年 4月	連携充実加算
令和 2年 6月	せん妄ハイリスク患者ケア加算
令和 4年 4月	外来腫瘍化学療法診療料1
令和 4年10月	看護職員処遇改善評価料
令和 4年11月	二次性骨折予防継続管理料1
令和 4年11月	二次性骨折予防継続管理料3
令和 4年11月	日本医療機能評価認定<3rdG:Ver2.0>〔公益財団法人 日本医療機能評価機構〕 (期間 R3.10.16~R8.10.15)
令和 5年 4月	導入期加算1
令和 5年 4月	地域包括ケア病棟入院料2(辞退届)
令和 5年 5月	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料2)(変更)
令和 5年 5月	結核病棟入院基本料(10対1入院基本料)(変更)
令和 5年 5月	急性期看護補助体制加算(25対1(看護補助者5割未満))(変更)
令和 5年 5月	看護職員夜間配置加算(12対1配置加算2)(辞退届)
令和 5年 7月	看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)
令和 5年 8月	別添1の「第14の2」の1の(3)に規定する在宅療養支援病院
令和 5年10月	地域包括ケア病棟入院料2
令和 5年10月	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)(変更)
令和 5年10月	結核病棟入院基本料(7対1入院基本料)(変更)
令和 6年 3月	市立大洲病院経営強化プラン策定

令和 6年 4月	訪問看護ステーション「ふわり」開設
令和 6年 4月	病棟薬剤業務実施加算1
令和 6年 6月	急性期看護補助体制加算(看護補助体制充実加算1)(診療報酬改定に伴う)
令和 6年 6月	外来・在来ベースアップ評価料(Ⅰ)
令和 6年 6月	入院ベースアップ評価料
令和 6年 7月	慢性腎臓病透析予防指導管理料
令和 7年 2月	地域包括ケア病棟入院料2(看護補助体制充実加算1)(変更)
令和 7年 3月	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料2)(変更)
令和 7年 3月	結核病棟入院基本料(10対1入院基本料)(変更)

5 組 織

(令和7年4月1日現在)



6 職 員 数

(令和7年4月1日現在)

職 種 \ 年 度	令和6年度			令和7年度			備 考
	常勤	会計年度 任用職員 等	計	常勤	会計年度 任用職員 等	計	
医 師	13	41	54	13	41	54	
薬 剤 師	6	1	7	6	0	6	
診療放射線技師	6	0	6	5	0	5	
臨床検査技師	6	1	7	7	1	8	
臨床工学技士	7	0	7	7	0	7	
理学療法士	7	0	7	7	0	7	
作業療法士	4	0	4	4	0	4	
言語聴覚士	1	0	1	1	0	1	
管理栄養士	4	0	4	4	0	4	
看護 師	109	8	117	105	9	114	助産師・准看護師含む
社会福祉士	2	1	3	2	1	3	
診療情報管理士	2	0	2	2	0	2	
調 理 師	0	0	0	0	0	0	
事 務 員	9	0	9	9	0	9	
医療ク ラ ーク	0	13	13	0	13	13	
看護 助 手	0	11	11	0	13	13	
診療業務補助	0	9	9	0	9	9	
事務 補 助	0	9	9	0	10	10	
調理 補 助	0	0	0	0	0	0	
合 計	176	94	270	172	97	269	職員定数 185 人

※ 事業管理者を含む。

7 施設の概況

(1)土地・建物・附属設備

区 分		所在地	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	構 造	建築 年月日
病 院 本 館 病院屋外付帯施設	アプローチ	西大洲甲 570	17,150.85	10,813.50	鉄筋コンクリート造 4 階建	H7.4.1
	車 庫 棟			241.51		
	浄化槽置場			206.00		
	ゴ ミ 置 場			18.00		
	自転車置場			15.75		
	バス停車場			82.79		
	発熱外診察室			41.38		
	発熱外来用倉庫			8.61		H23.5.30
	院内保育所			6.60		
	第2駐車場	西大洲甲 565-2	548.00	548.00	木造鋼板瓦棒葺平屋建	H28.2.28
医 師 住 宅		大洲 812-4	155.47	124.08	木造瓦葺 2 階建	H13.3.23
		大洲 812-6	36.36			
		大洲 820-5	(大洲市所有)	127.69	木造瓦葺 2 階建	H14.3.31
		大洲 765-1	(大洲市所有)	126.87	木造瓦葺 2 階建	H14.3.18
				126.87	木造瓦葺 2 階建	H14.3.18
		大洲 977-2	171.90	102.74	木造モルタルスパニッシュ瓦葺	S60.8.20
		大洲 977-3	26.44	102.74		
		大洲 977-7	330.57	102.74	木造モルタルスパニッシュ瓦葺	S60.8.20
		大洲 688-10	383.40	141.01	木造瓦葺 2 階建	H12.2.29
		大洲 350-2	216.98	125.44	木造スレート瓦葺2階建	H12.2.29
		柚木 1034-1	211.42		更地	
		柚木 1034-5	212.89		更地	
		柚木 1034-6	212.75		更地	
		柚木 1034-7	213.36		更地	
		柚木 1034-8	212.90		更地	

(2) 医療機器

主な医療器械

(1 件 300 万円以上)

品 名	メーカー	型 式	取得年月日	数量
整形外科用手術台	ミズホ	MOS-1302B	R6. 12. 16	1 台
超音波画像診断装置	キャノンメディカルシステムズ	Aplio a Verifia	R5. 11. 8	1 式
大腸ビデオスコープ	オリンパス	PCF-H290ZI	R5. 9. 25	1 式
超音波画像診断装置	キャノンメディカルシステムズ	Aplio a Verifia	R5. 9. 21	1 式
超音波画像診断装置	GE ヘルスケア・ジャパン	Venue Fit R4 S64632K	R5. 9. 21	1 式
グライドスコープ	アムコ	GLIDESCOPE Core	R5. 7. 27	1 式
高圧蒸気滅菌装置	三浦工業	RX-32FNW、RH-12SHW	R5. 3. 20	1 式
器具除染用洗浄器	ゲティンゲグループ・ジャパン	ウォッシャーディスインフ ェクター 46-5-502ES60	R5. 3. 20	1 台
輸液ポンプ及びシリンジポンプ	テルモ	TE-281N、TE-381	R5. 3. 15	20 台
超音波画像診断装置	富士フイルムヘルスケア	ARIETTA 65LE	R5. 2. 16	1 式
麻酔システム	アコマ医科工業、日本光電工業	PRO-NEXT+i、CSM-1502、ラ イフスコープ PT	R5. 1. 26	1 式
全身用 X 線 CT 診断装置	キャノンメディカルシステムズ	Aquilion ONE Spectral Edition(TSX-306A)	R4. 12. 27	1 式
上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス	GIF-1200N、UCR	R4. 12. 13	1 式
眼科部門システム	ファインデックス	Claio、C-Note、OIS	R4. 9. 28	1 式
全自動錠剤分包機	ユヤマ	128LitreaIV-VC	R4. 3. 23	1 台
紫外線照射システム	モレーンコーポレーション	UVDI-360	R4. 1. 19	1 台
多用途透析用監視装置	日機装	DCS-200Si	R4. 1. 4	4 台
電気手術器	アムコ	エルベ VI03	R4. 1. 4	1 式
患者監視装置	日本光電工業	PVM-4761-Q20	R3. 10. 21	4 台
回診用 X 線撮影装置	島津製作所	MobiliArt Evolution MX7	R3. 9. 30	2 式
X 線テレビシステム	島津製作所	SONIALVISION G4 LXedition	R3. 9. 30	1 式
内視鏡ビデオシステム	オリンパス	VISERA ELITE II	R3. 9. 24	1 台
内視鏡ビデオシステム	オリンパス	EVIS X1	R3. 9. 24	1 台
多項目自動血球分析装置	シスメックス	XR-1000	R3. 9. 22	1 台
P C R 検査器	ベックマン・コールター	GeneXpert システム GX-IV	R3. 7. 29	1 台
ME 機器管理システム	九州デン	ACE. MeDiStation 外	R3. 3. 31	1 式
医療費自動精算機システム	アルメックス	TH-X、hpw-8700 外	R3. 3. 24	1 式
患者監視装置	日本光電工業	WEP-1400、PVM-4761-Q20 外	R3. 2. 26	1 式
血液浄化装置	日機装	TR-2020	R3. 1. 26	1 台
移動型 X 線透視診断装置	シーメンスヘルスケア	Cios Fusion	R2. 12. 21	1 式
多用途透析用監視装置	日機装	DCS-200Si 外	R2. 12. 3	8 式
超音波画像診断装置	キャノンメディカルシステムズ	Aplio a Verifia	R2. 10. 30	1 式
耳鼻科ビデオシステムセンター	オリンパス	ENF-VH2、OTV-SI2 外	R2. 8. 26	1 式

品 名	メーカー	形式	取得年月日	数量
全自動尿中有形成分分析装置	シスメックス	UF-5000	R2. 8. 21	1 台
病院医療情報システム	富士通四国インフォテック	電子カルテシステム（クラウド型）	R2. 3. 31	1 式
X線一般撮影装置 X線発生装置	島津製作所	RADSpeed Pro	R1. 12. 22	2 式
X線一般撮影装置（FPD）	コニカミノルタ	AeroDR fine 他	R1. 9. 27	1 式
オリンパスビデオシステム	オリンパス	VISERA ELITE II	R1. 7. 11	1 式
逆浸透精製水製造システム	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ	MRC-DCnano II 1200Ao-HT MRC-RO-NFX4	H31. 2. 7	1 式
透析液供給システム	ニプロ	NCS-W-20L	H31. 2. 7	1 式
A剤・B剤溶解装置	ニプロ	NPS-AW、NPS-BW	H31. 2. 7	1 式
透析用ベッド	シーホネンス	DX-9502IT	H31. 1. 24	22 台
超音波診断装置	コヴィディエンジャパン	LOGIQ e V2VA	H31. 1. 17	1 式
MR I 装置	キャノンメディカルシステムズ	Vantage Orian MRT-1550 外	H30. 12. 26	1 式
スケールベッド	エー・アンド・デイ	UFT-WAK-710-K2	H30. 12. 20	5 台
多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX	H30. 12. 13	8 台
患者監視装置	日本光電工業	CSM-1502、BSM-1763	H30. 12. 3	1 式
超音波診断装置	日立製作所	SSD-F37ST-N	H30. 11. 28	1 式
角膜形状/屈折力解析装置	ニデック	OPD-ScanIII	H30. 8. 31	1 式
多用途透析装置	日機装	DCS-100NX	H30. 3. 1	5 台
ハンフリーフィールドアナライザー	カールツァイスメディテック	HFAIII850	H30. 1. 29	1 式
細菌検査システム	栄研化学	バクトシステム2	H29. 12. 27	1 式
先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	LTF-S190-5	H29. 7. 31	1 式
ホルミウムレーザー	ボストンサイエンティフィック ジャパン	バーサパルス 30W	H29. 7. 19	1 式
低温滅菌システム	メディエート	PS-140R	H29. 7. 11	1 台
上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	GIF-H290Z	H29. 6. 30	1 式
YAGレーザー	ニデック	YC-1800	H29. 4. 28	1 式
マルチカラーレーザー	ニデック	MC-500Vixi	H29. 4. 28	1 式
広角眼底撮影装置	オプトス	パノラミックオフサルモス コープデイトナ	H29. 4. 28	1 式
眼軸長測定装置	トーマ	OA-2000	H29. 4. 28	1 式
光干渉断層計OCT	トプコンメディカル	DRI OCT TritonPlus	H29. 4. 28	1 式
眼科手術顕微鏡	カールツァイス	OPMI Lumera700	H29. 4. 28	1 式
白内障・硝子体手術装置	日本アルコン	コンステレーションビジョ ンシステム LXT 外	H29. 4. 28	1 式
地域医療連携ネットワークシステム	富士通四国	PowerEdgeR330 外	H29. 3. 31	1 式
内視鏡マネージメントシステム	オリンパス	Solemio ENDO Belle Ver.4.1	H29. 3. 31	1 式
超音波診断装置	日立製作所	SSD-F37	H28. 8. 1	1 式
アルゴンプラズマ凝固装置	アムコ	VI0300D/APC2	H28. 6. 30	1 台
個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	H27. 7. 31	1 台

品 名	メーカー	型 式	取得年月日	数量
泌尿器科用手術用内視鏡セット	オリンパス	腎盂尿管ビデオスコープ 外	H27.7.10	1 式
往診時カルテ参照機能システム	富士通四国	HOPE PocketChart	H27.3.20	1 式
内視鏡システム	オリンパス	CV-290 外	H26.7.28	1 式
大腸ビデオスコープ	オリンパス	PCF-H2901	H26.7.28	1 台
上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H290	H26.7.28	1 台
超音波診断装置	日立アロカ	Prosound α 7	H26.6.2	1 式
デスフルラン気化器付麻酔器	アコマ	PRO-NEXT+i	H26.3.31	1 式
生体情報モニタ	日本光電	MU-671R	H26.3.20	1 式
患者監視装置（ベッドサイドモニタ）	日本光電	PMV-2703 外	H26.3.19	6 台
超音波診断装置（血管穿刺エコー）	GE ヘルスケア	LOGIQ e Expert	H25.6.21	1 式
ビデオシステム（膀胱腎盂ビデオスコープ）	オリンパス	VISERA-ELITE CYF-VHA 外	H25.6.19	1 式
内視鏡外科用手術器械	オリンパス	VISERA-ELITE LTF-S190-10 外	H25.6.18	1 式
マンモグラフィー装置（乳房X線装置）	シーメンス	MAMMOMAT1000	H25.3.29	1 式
患者監視装置（セントラルモニタ）	日本光電	WEP-5208 外	H25.3.18	3 台
医療用手洗いシステム	三菱レイヨン・クリンスイ	MRC-SFMⅡ-3S	H25.2.25	1 式
人工呼吸器	フクダ電子	Servo I Adult	H24.11.19	1 式
全自動錠剤分包機	湯山製作所	YS-TR-130 FDXⅡSE	H24.10.17	1 式
関節鏡カメラシステム	日本ストライカー	1188 カメラコンソール 外	H24.5.31	1 式
内視鏡マネージメントシステム	オリンパス	Solemio ENDO Belle Ver3.3 外	H24.1.31	1 式
内視鏡室超音波観測装置	オリンパス	EU-ME1 外	H24.1.31	1 式
内視鏡室周辺機器	オムロンコーリンほか	生体情報モニタ BP-A308 他	H24.1.31	1 式
内視鏡室ビデオスコープセット	オリンパス	GIF-H260 外	H23.12.27	1 式
内視鏡室超音波診断装置	日立アロカ	SSD- α 7 外	H23.12.8	1 式
手術用无影灯	山田医療照明	プラネットリブラNo.3734	H22.12.20	3 台
高圧蒸気ボイラ	三浦工業	SI-1500VS 外	H22.12.1	2 台
電動式骨手術機械システム	ジンマー	パワープロⅡ PR-6100 外	H22.9.30	1 式
整形外科用手術台	瑞穂医科	MOS-1300B	H21.11.30	1 式
全身麻酔器	アコマ	KMA-1300Vi	H21.10.28	1 式
患者監視装置	日本光電	BSM-5132 外	H20.8.12	1 式
核医学画像診断装置	シーメンス	Symbia S 外	H19.9.28	1 式
超音波診断装置	アロカ	SSD-3500V 外	H19.1.29	1 式
人工呼吸器	フクダ電子	Servo I adult	H17.11.28	1 式
呼吸ガスモニター	日本光電	BSM-5132 外	H17.11.10	1 式
X線骨密度測定装置	GE 横河メディカル	DPX-BRAVO	H17.4.15	1 式
運動負荷付心電計	フクダ電子	FCP-7431 外	H16.7.7	1 式
3CCD デジタルビデオカメラ	オリンパス	OTV-S7H-N 外	H15.9.17	1 式

品 名	メーカー	型 式	取得年月日	数量
透析用患者監視装置	ニプロ	NDF-21	H15. 7. 29	3 台
超音波診断装置	アロカ	SSD-5500	H14. 9. 30	1 式
人工呼吸器	フクダ電子	Servo i	H14. 9. 27	1 式
液体酸素受入装置	日本化学	CE-2500-M	H7. 3. 31	1 式
オゾン室内殺菌装置	アサヒ医科	HAB-200D	H7. 3. 6	1 式

8 施設基準

令和7年3月31日現在

届出項目		算定開始月
基本診療料の 施設基準に関する届出	一般病棟入院基本料	令和 7 年 3 月
	結核病棟入院基本料	令和 7 年 3 月
	地域包括ケア病棟入院料2	令和 7 年 2 月
	感染対策向上加算1	令和 7 年 1 月
	入退院支援加算	令和 6 年 10 月
	後発医薬品使用体制加算2	令和 6 年 6 月
	急性期看護補助体制加算	令和 6 年 6 月
	病棟薬剤業務実施加算1	令和 6 年 4 月
	看護職員夜間配置加算	令和 5 年 7 月
	認知症ケア加算	令和 4 年 5 月
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2 年 6 月
	医師事務作業補助体制加算1	令和 2 年 4 月
	救急医療管理加算	令和 2 年 4 月
	医療安全対策加算1	平成 30 年 4 月
	重症者等療養環境特別加算	平成 28 年 10 月
	診療録管理体制加算2	平成 26 年 9 月
	データ提出加算	平成 26 年 4 月
	患者サポート体制充実加算	平成 24 年 4 月
	栄養サポートチーム加算	平成 23 年 5 月
特掲診療料の 施設基準に関する届出	看護職員処遇改善評価料59	令和 7 年 1 月
	入院ベースアップ評価料82	令和 6 年 10 月
	外来腫瘍化学療法診療料1	令和 6 年 10 月
	外来・在来ベースアップ評価料(Ⅰ)	令和 6 年 6 月
	別添1の「第14の2」の1の(3)に規定する在宅療養支援病院	令和 5 年 8 月
	導入期加算1	令和 5 年 4 月
	二次性骨折予防継続管理料1	令和 4 年 11 月
	二次性骨折予防継続管理料3	令和 4 年 11 月
	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	令和 3 年 5 月
	腎代替療法指導管理料	令和 2 年 4 月
	外来栄養食事指導料の注2	令和 2 年 4 月
	CT撮影及びMRI撮影	平成 30 年 12 月
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	平成 30 年 4 月
	人工腎臓	平成 30 年 4 月
	院内トリアージ実施料	平成 30 年 3 月
	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成 28 年 9 月
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成 28 年 4 月
	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	平成 26 年 4 月

届 出 項 目		算 定 開 始 月
特 掲 診 療 料 の 施 設 基 準 に 関 する 届 出	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	平 成 2 6 年 4 月
	医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術	平 成 2 6 年 4 月
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平 成 2 6 年 4 月
	がん治療連携指導料	平 成 2 5 年 3 月
	輸血管管理料Ⅱ	平 成 2 4 年 5 月
	輸血適正使用加算	平 成 2 4 年 5 月
	糖尿病透析予防指導管理料	平 成 2 4 年 4 月
	薬剤管理指導料	平 成 2 2 年 7 月
	がん性疼痛緩和指導管理料	平 成 2 2 年 6 月
	肝炎インターフェロン治療計画料	平 成 2 2 年 4 月
	糖尿病合併症管理料	平 成 2 1 年 1 月
	医療機器安全管理料1	平 成 2 0 年 4 月
	検体検査管理加算(Ⅰ)	平 成 2 0 年 4 月
	外来化学療法加算1	平 成 2 0 年 4 月
	無菌製剤処理料	平 成 2 0 年 4 月
	麻酔管理料(Ⅰ)	平 成 1 7 年 7 月
保 険 外 併 用 療 養 費	入院期間が 180 日を超える入院	令 和 6 年 6 月
	特別の療養環境の提供	令 和 元 年 1 0 月
入 院 時 食 事 療 養 費	入院時食事療養費/生活栄養(Ⅰ)	平 成 2 9 年 8 月
そ の 他	酸素の購入単価	令 和 6 年 4 月

II 業務の概要

1 患者の概況

(1)診療科別患者数

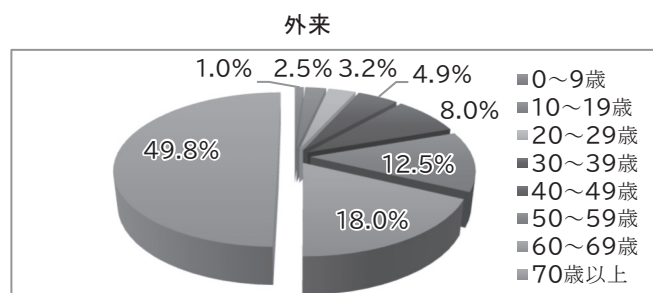
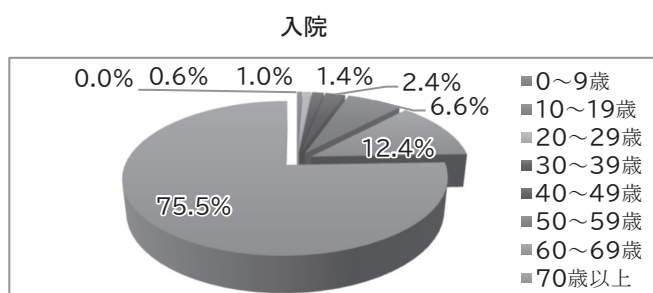
ア 入院 (単位:人)

診療科	令和5年度	令和6年度	増減
内科	12,689	14,686	1,997
神経内科	0	0	0
外科	1,635	1,795	160
整形外科	8,540	9,019	479
皮膚科	0	0	0
泌尿器科	2,602	3,314	712
産婦人科	-	-	-
眼科	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0
小児科	-	-	-
合計	25,466	28,814	3,348

イ 外来 (単位:人)

令和5年度	令和6年度	増減
23,189	24,409	1,220
1,551	1,533	▲ 18
3,575	3,464	▲ 111
8,442	8,242	▲ 200
3,351	5,198	1,847
23,045	23,341	296
-	-	-
1,908	2,072	164
2,106	2,327	221
-	-	-
67,167	70,586	3,419

(2)年齢別患者数



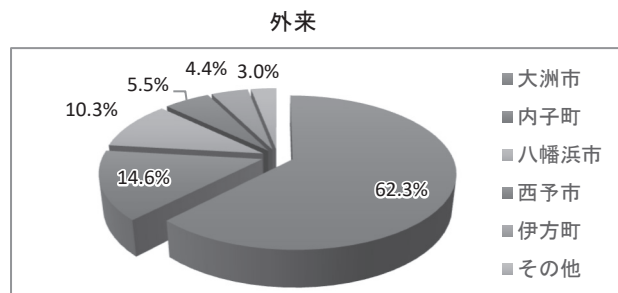
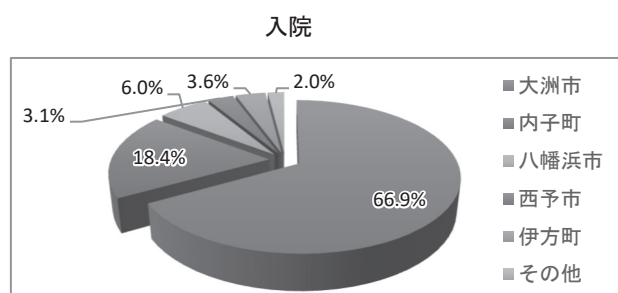
入院(実患者数)

区分	患者数
0～9歳	0
10～19歳	9
20～29歳	14
30～39歳	20
40～49歳	34
50～59歳	94
60～69歳	175
70歳以上	1,069
計	1,415

外来(実患者数)

区分	患者数
0～9歳	123
10～19歳	289
20～29歳	381
30～39歳	570
40～49歳	943
50～59歳	1,474
60～69歳	2,116
70歳以上	5,854
計	11,750

(3)市町村別患者数



入院(実患者数)

区分	患者数
大洲市	946
内子町	261
八幡浜市	85
西予市	44
伊方町	51
その他	28
計	1,415

外来(実患者数)

区分	患者数
大洲市	7,318
内子町	1,710
八幡浜市	1,207
西予市	642
伊方町	518
その他	355
計	11,750

※対象者数はレセプト請求を行った実人数

(4)利用患者の動向

ア 入 院

区分 \ 年度		令和5年度	令和6年度	増 減
総 数	年間延患者数	25,466 人	28,814 人	3,348 人
	1 日平均患者数	69.6 人	78.9 人	9.4 人
	病 床 利 用 率	46.5 %	52.6 %	6.1 %
	病 床 稼 働 率	49.5 %	55.8 %	6.3 %
	平均在院日数	15.4 日	16.8 日	1.4 日
うち一般病床	年間延患者数	25,137 人	28,560 人	3,423 人
	1 日平均患者数	68.7 人	78.2 人	9.6 人
	病 床 利 用 率	48.5 %	55.1 %	6.6 %
	病 床 稼 働 率	52.0 %	58.8 %	6.8 %
	平均在院日数	15.6 日	16.8 日	1.2 日
うち結核病床	年間延患者数	329 人	254 人	▲ 75 人
	1 日平均患者数	0.9 人	0.7 人	▲ 0.2 人
	病 床 利 用 率	11.3 %	8.7 %	▲ 2.6 %
	病 床 稼 働 率	12.5 %	10.0 %	▲ 2.5 %
	平均在院日数	9.5 日	11.3 日	1.8 日

イ 外 来

区分 \ 年度		令和5年度	令和6年度	増 減
延 患 者 数	年 間	67,167 人	70,586 人	3,419 人
	1 日 当 た り	276.4 人	290.5 人	14.1 人
うち初診患者数	年 間	4,629 人	5,388 人	759 人
	1 日 当 た り	19.0 人	22.2 人	3.2 人

(5) 月別・診療科別患者数

ア 入 院 (新入院・退院患者数)

新入院患者数	退院患者数
延入院患者数	

$\left(\frac{\text{5年度}}{\text{6年度}} \right)$ (単位:人)

診療科	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
内科	46	57	72	60	71	74	77	70	91	82	78	85
	890		937		812		1,061		1,277		1,138	
	74	64	68	68	59	64	83	72	81	77	87	82
	1,144		1,109		946		1,228		1,366		1,397	
外科	14	15	17	19	13	14	13	11	18	15	16	17
	144		126		113		134		143		125	
	15	15	18	16	21	18	19	23	17	16	18	17
	108		114		174		145		164		199	
整形外科	25	24	22	29	27	27	13	19	23	23	20	15
	840		742		593		521		484		531	
	20	25	29	25	23	25	16	19	23	15	23	23
	583		639		623		565		622		685	
泌尿器科	25	27	34	32	28	29	34	31	29	34	24	18
	221		212		219		304		226		164	
	35	32	30	36	30	31	33	25	25	28	38	40
	282		262		219		266		335		259	
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0		0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0		0	
5年度計	110	123	145	140	139	144	137	131	161	154	138	135
	2,095		2,017		1,737		2,020		2,130		1,958	
6年度計	144	136	145	145	133	138	151	139	146	136	166	162
	2,117		2,124		1,962		2,204		2,487		2,540	

診療科	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合計	
内科	72	74	63	55	70	70	76	72	55	62	63	66	834	827
	1,083		969		1,095		1,331		1,113		983		12,689	
	71	80	66	63	76	68	60	61	59	66	73	74	857	839
	1,341		1,159		1,272		1,368		1,136		1,220		14,686	
外科	20	22	17	13	14	15	31	21	15	17	10	11	198	190
	150		131		152		204		137		76		1,635	
	24	26	22	18	16	20	14	12	16	16	17	20	217	217
	173		129		159		115		163		152		1,795	
整形外科	31	27	24	26	19	28	27	24	21	33	22	20	274	295
	869		782		897		847		787		647		8,540	
	17	21	22	22	31	22	24	19	23	35	19	26	270	277
	770		759		990		1,194		899		690		9,019	
泌尿器科	40	41	30	33	30	34	23	23	23	24	18	15	338	341
	294		299		187		171		150		155		2,602	
	22	25	35	32	41	41	29	30	31	31	30	31	379	382
	192		234		370		314		302		279		3,314	
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0		0		0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0		0		0	
5年度計	163	164	134	127	133	147	157	140	114	136	113	112	1,644	1,653
	2,396		2,181		2,331		2,553		2,187		1,861		25,466	
6年度計	134	152	145	135	164	151	127	122	129	148	139	151	1,723	1,715
	2,476		2,281		2,791		2,991		2,500		2,341		28,814	

イ 外 来

$\left(\begin{array}{c} \text{5年度} \\ \hline \text{6年度} \end{array} \right)$ (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1,872	1,822	1,962	1,894	2,092	1,993	2,030	1,909	2,067	1,929	1,778	1,841	23,189
	1,981	1,952	1,971	2,093	2,140	2,063	2,178	2,022	2,348	1,945	1,798	1,918	24,409
外科	257	285	284	288	268	358	350	277	289	310	316	293	3,575
	291	313	299	297	280	323	304	272	309	269	260	247	3,464
整形外科	768	757	787	738	716	701	743	628	645	644	636	679	8,442
	660	745	701	778	676	648	751	697	676	605	595	710	8,242
皮膚科	253	272	261	230	295	263	258	249	257	266	389	358	3,351
	455	466	445	462	470	447	526	403	445	386	362	331	5,198
泌尿器科	1,862	1,894	1,892	1,943	1,926	1,896	2,012	1,948	2,012	1,825	1,907	1,928	23,045
	2,050	2,040	1,893	2,065	2,032	1,897	2,037	1,882	1,945	1,844	1,747	1,909	23,341
眼科	148	122	171	140	183	174	163	150	160	172	145	180	1,908
	170	177	164	175	185	194	207	153	169	141	132	205	2,072
耳鼻咽喉科	169	170	181	174	183	186	164	180	179	154	149	217	2,106
	177	205	189	200	186	180	201	206	213	180	168	222	2,327
神経内科	122	111	152	129	146	118	125	166	117	133	113	119	1,551
	106	148	122	154	118	114	148	120	138	121	117	127	1,533
5年度計	5,451	5,433	5,690	5,536	5,809	5,689	5,845	5,507	5,726	5,433	5,433	5,615	67,167
6年度計	5,890	6,046	5,784	6,224	6,087	5,866	6,352	5,755	6,243	5,491	5,179	5,669	70,586
増減数	439	613	94	688	278	177	507	248	517	58	▲ 254	54	3,419

ウ 月別1日平均患者数

単位:(人)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	5年度	診療日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
		1日平均	69.8	65.1	57.9	65.2	68.7	65.3	77.3	72.7	75.2	82.4	75.4	60.0	69.6
		年平均比率	100.3	93.5	83.2	93.6	98.7	93.8	111.0	104.5	108.0	118.3	108.4	86.3	100.0
	6年度	診療日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
		1日平均	70.6	68.5	65.4	71.1	80.2	84.7	79.9	76.0	90.0	96.5	89.3	75.5	78.9
		年平均比率	89.4	86.8	82.9	90.1	101.7	107.3	101.2	96.4	114.1	122.3	113.2	95.7	100.0
外来	5年度	診療日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	20日	243日
		1日平均	272.6	271.7	258.6	276.8	264.0	284.5	278.3	275.4	286.3	285.9	285.9	280.8	276.4
		年平均比率	98.6	98.3	93.6	100.1	95.5	102.9	100.7	99.6	103.6	103.5	103.5	101.6	100.0
	6年度	診療日数	21日	21日	20日	22日	21日	19日	22日	20日	20日	19日	18日	20日	243日
		1日平均	280.5	287.9	289.2	282.9	289.9	308.7	288.7	287.8	312.2	289.0	287.7	283.5	290.5
		年平均比率	96.5	99.1	99.6	97.4	99.8	106.3	99.4	99.1	107.5	99.5	99.0	97.6	100.0

エ 診療科別 1 日平均患者数

			内科	神経内科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
入院	5年度	患者数	34.7 人	-	4.5 人	23.3 人	-	7.1 人	.0 人	-	69.6 人
		構成比	49.9%	-	6.5%	33.5%	-	10.2%	0.0%	-	100.0%
	6年度	患者数	40.2 人	-	4.9 人	24.7 人	-	9.1 人	.0 人	-	78.9 人
		構成比	51.0%	-	6.2%	31.3%	-	11.5%	0.0%	-	100.0%
外来	5年度	患者数	95.4 人	6.4 人	14.7 人	34.7 人	13.8 人	94.8 人	7.9 人	8.7 人	276.4 人
		構成比	34.5%	2.3%	5.3%	12.6%	5.0%	34.3%	2.9%	3.1%	100.0%
	6年度	患者数	100.4 人	6.3 人	14.3 人	33.9 人	21.4 人	96.1 人	8.5 人	9.6 人	290.5 人
		構成比	34.6%	2.2%	4.9%	11.7%	7.4%	33.1%	2.9%	3.3%	100.0%

注)各診療科の診療日数が異なるため、合計と(5)－イ「外来」とは一致しない。

オ 月別・診療科別外来初診患者数

(単位:人)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
令和5年度		331	333	346	414	495	433	409	323	326	436	418	365	4,629
	内科	108	106	142	194	256	182	144	121	150	193	138	123	1,857
	神経内科	6	4	5	6	4	2	4	3	3	6	2	4	49
	外科	44	51	37	55	39	62	68	44	40	65	51	41	597
	整形外科	66	60	67	65	72	55	79	60	49	63	50	45	731
	皮膚科	35	42	29	24	44	49	33	27	28	54	99	81	545
	泌尿器科	38	41	39	38	46	46	50	28	35	22	48	34	465
	眼科	10	12	13	11	19	26	17	18	14	13	9	10	172
	耳鼻咽喉科	24	17	14	21	15	11	14	22	7	20	21	27	213
令和6年度		438	461	443	541	521	485	491	426	509	340	365	368	5,388
	内科	131	137	136	212	210	172	149	156	229	133	124	122	1,911
	神経内科	4	8	4	7	4	5	3	5	5	4	2	4	55
	外科	57	67	55	57	44	65	47	60	57	44	41	43	637
	整形外科	69	65	67	85	63	61	65	60	63	43	62	65	768
	皮膚科	105	104	109	99	128	102	131	71	91	56	73	50	1,119
	泌尿器科	36	39	41	49	37	41	59	43	36	36	37	35	489
	眼科	16	20	12	15	22	25	19	12	13	10	10	29	203
	耳鼻咽喉科	20	21	19	17	13	14	18	19	15	14	16	20	206

力 月別病床利用率

(単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和5年度	46.5	43.3	38.1	41.6	44.0	42.7	51.3	48.5	50.1	54.1	51.5	39.5	46.5
一般	49.1	45.8	40.3	43.9	46.5	45.1	54.2	51.2	53.0	57.1	54.4	41.8	48.5
結核	1.3	1.2	8.8	34.7	33.5	15.0	4.0	0.0	0.0	15.7	11.6	8.9	11.3
令和6年度	46.7	45.7	43.6	46.1	52.4	55.7	53.0	50.5	59.4	63.8	59.4	50.0	52.6
一般	49.3	48.3	46.1	48.7	55.3	58.8	56.0	53.4	62.8	67.4	62.7	52.8	55.1
結核	6.3	0.0	0.0	24.6	21.0	14.6	4.0	2.9	10.9	8.9	3.1	7.3	8.7

キ 月別・診療科別平均在院日数

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和5年度	18.0	14.2	12.3	15.1	13.5	14.3	14.7	16.7	16.7	17.2	17.5	16.5	※15.4
内科	17.3	14.2	11.2	14.4	14.8	14.0	14.9	16.4	15.6	18.0	19.1	15.3	15.3
外科	9.9	7.1	8.4	11.2	8.7	7.6	7.1	8.7	10.5	7.8	8.6	7.2	8.4
整形外科	34.3	29.1	22.0	32.6	21.0	30.3	30.0	31.3	38.2	33.2	29.2	30.8	30.0
泌尿器科	8.5	6.4	7.7	9.3	7.2	7.8	7.3	9.5	5.8	7.5	6.4	9.4	7.7
眼科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
再掲	一般	18.0	14.2	12.4	15.5	13.9	14.5	14.7	16.7	16.7	17.1	17.6	※15.6
結核	6.0	6.0	7.0	9.6	7.9	10.3	6.7	0.0	0.0	26.0	13.0	8.8	※ 9.6
令和6年度	15.1	14.6	14.5	15.2	17.6	15.5	17.3	16.3	17.7	24.0	18.1	16.1	※16.8
内科	16.6	16.4	15.4	15.9	17.3	16.6	17.8	18.0	17.7	22.7	18.2	16.6	17.3
外科	7.2	6.7	8.9	7.0	9.9	11.4	7.0	6.5	8.8	8.8	10.2	8.2	8.3
整形外科	25.9	23.7	26.0	32.3	32.7	29.8	40.5	34.5	37.4	55.5	31.0	30.7	33.0
泌尿器科	8.4	7.9	7.2	9.2	12.6	6.6	8.2	7.0	9.0	10.7	9.7	9.1	8.7
眼科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
再掲	一般	15.4	14.6	14.5	15.1	17.8	15.7	17.3	16.3	17.8	24.0	18.1	※16.8
結核	4.3	0.0	0.0	17.4	11.6	8.8	0.0	14.0	10.8	22.0	7.0	9.0	※11.3

※施設基準による調整前の数字である。

(6) 救急患者の取扱状況〈輪番制：毎週月曜日・火曜日〉

(火曜日夜間帯は広域救急受入)

(単位：人、台)

令和5年度実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急当番日	8	10	8	9	9	8	10	8	8	10	8	8	104
救急患者総数	122	156	146	216	228	184	188	139	160	302	170	132	2,143
当番日の救急患者数	115	156	141	215	224	179	185	135	151	300	168	128	2,097
当番日以外の救急患者数	7	0	5	1	4	5	3	4	9	2	2	4	46
1 救急当たり	14.4	15.6	17.6	23.9	24.9	22.4	18.5	16.9	18.9	30.0	21.0	16.0	20.2
内 科	63	95	91	145	164	116	107	83	110	191	98	84	1,347
神 経 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科	31	31	17	41	20	41	36	24	21	58	33	19	372
整 形 外 科	26	27	33	26	39	23	39	30	25	41	34	24	367
皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌 尿 器 科	2	3	5	4	5	4	6	1	4	12	5	4	55
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 咽 喉 科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
入院患者数	41	53	56	44	71	45	50	42	48	74	50	44	618
救急車台数	58	67	76	74	98	77	70	56	81	106	66	62	891

令和6年度実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急当番日	10	8	8	10	8	9	9	8	10	8	8	9	105
救急患者総数	173	186	158	231	228	237	182	182	342	185	179	146	2,429
当番日の救急患者数	169	181	157	229	223	233	175	180	338	183	176	143	2,387
当番日以外の救急患者数	4	5	1	2	5	4	7	2	4	2	3	3	42
1 救急当たり	16.9	22.6	19.6	22.9	27.9	25.9	19.4	22.5	33.8	22.9	22.0	15.9	22.7
内 科	98	99	92	149	150	147	97	105	249	129	99	89	1,503
神 経 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科	34	48	31	25	30	54	34	30	45	24	28	22	405
整 形 外 科	33	33	33	52	40	32	45	42	41	28	43	30	452
皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
泌 尿 器 科	7	6	2	5	8	3	5	5	7	4	9	5	66
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 咽 喉 科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
入院患者数	48	49	42	56	59	57	56	54	71	49	43	55	639
救急車台数	77	69	67	94	94	95	82	84	104	77	75	76	994

(7) 総合健診の状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
5 年 度	1 日 ド ッ ク	12	27	24	20	27	31	35	35	37	27	33	14	322
	1 泊2日ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	協会けんぽ健診	3	36	46	30	36	27	40	44	23	25	36	12	358
	企 業 健 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
	そ の 他	0	0	5	2	5	4	10	4	5	7	9	10	61
	計	15	63	75	52	68	62	85	83	65	59	78	46	751

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
6 年 度	1 日 ド ッ ク	12	22	28	36	28	30	33	38	23	27	33	11	321
	1 泊2日ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	協会けんぽ健診	19	36	41	36	26	34	43	39	18	25	32	18	367
	企 業 健 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	9
	そ の 他	0	0	2	1	1	3	10	4	7	3	5	4	40
	計	31	58	71	73	55	67	86	81	48	55	73	39	737

※1 日ドック：市町村共済ドック、公立学校共済ドック、市立大洲病院ドック

※1 泊2日ドック：市町村共済ドック、市立大洲病院ドック

※企業健診における実績には市職員検診は含まず

2 手術の状況

(1) 月別・診療科別手術件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度実績	43	49	40	29	46	43	52	48	46	37	39	35	507
内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
外 科	10	12	8	8	12	18	14	12	12	15	12	11	144
整形外科	17	18	23	7	15	16	20	20	20	15	20	10	201
皮 膚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	16	19	9	14	19	9	18	16	14	7	7	12	160
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年度実績	41	46	44	36	44	43	40	47	43	38	46	32	500
内 科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外 科	9	13	14	12	13	10	15	12	8	6	11	11	134
整形外科	14	17	17	10	20	17	11	16	19	14	17	10	182
皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	18	16	12	14	11	16	14	19	16	18	18	11	183
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 月別麻酔件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度実績	43	49	40	29	46	43	52	48	46	37	39	35	507
全身麻酔	15	16	13	7	18	16	22	19	19	19	19	12	195
腰椎麻酔	15	19	16	7	17	8	17	18	18	7	12	14	168
硬膜外麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝達麻酔	7	13	10	9	8	16	12	9	7	9	8	7	115
そ の 他	6	1	1	6	3	3	1	2	2	2	0	2	29
6年度実績	41	46	44	36	44	43	40	47	43	38	46	32	500
全身麻酔	12	16	20	15	18	13	16	18	11	14	18	12	183
腰椎麻酔	15	16	11	10	14	23	9	17	18	15	16	10	174
硬膜外麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝達麻酔	10	3	1	1	2	3	2	1	2	4	1	1	31
そ の 他	4	11	12	10	10	4	13	11	12	5	11	9	112

3 内視鏡検査件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度実績	109	137	167	160	171	174	191	177	158	138	117	113	1,812
上部内視鏡検査	72	106	119	106	125	130	134	126	109	96	85	84	1,292
〃（内、処置目的）	13	12	18	24	22	28	16	15	16	12	10	12	198
下部内視鏡検査	35	22	41	41	39	40	48	46	43	32	26	25	438
〃（内、処置目的）	8	12	17	19	21	19	24	18	23	20	16	10	207
E R C P	2	9	7	13	7	4	8	5	6	10	6	4	81
〃（内、処置目的）	2	7	7	12	7	4	7	4	5	10	6	3	74
超音波内視鏡検査	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年度実績	165	159	162	177	161	166	201	192	149	140	130	122	1,924
上部内視鏡検査	113	115	113	123	105	111	140	132	106	104	101	81	1,344
〃（内、処置目的）	14	15	16	14	23	23	21	21	32	17	17	13	226
下部内視鏡検査	40	38	43	50	48	49	50	53	40	30	27	38	506
〃（内、処置目的）	16	22	21	34	19	25	23	29	23	17	19	18	266
E R C P	12	6	6	4	8	6	10	7	3	6	2	3	73
〃（内、処置目的）	12	6	6	4	8	4	9	7	2	6	2	3	69
超音波内視鏡検査	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 人工透析業務の状況

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度
年間総数	9,342	9,241
新規導入患者数	9	12
他院からの治療目的入院	25	32
各種血液浄化数	1	14

5 薬剤室業務の状況

(1) 調剤業務の状況

		令和5年度	令和6年度
調剤数	外 来	121,646 (院内 19,692) (院外 101,954)	125,926 (院内 19,293) (院外 106,633)
	入 院	23,128	28,050
	計	144,774	153,976
処方箋 枚 数	外 来	41,470	43,806
	入 院	9,708	11,807
	計	51,178	55,613

(2) 薬剤管理指導の状況

	令和5年度	令和6年度
薬剤管理指導料算定	1,250	1,608
麻薬指導加算	13	44
退院時服薬指導加算	46	143
外来化学療法加算	352	272

(3) 薬品の状況

	令和5年度	令和6年度
取 扱 品 目	1,546 品目	1,556 品目
薬 品 収 入 (A)	276,267 千円	257,468 千円
薬 品 費 (B)	308,319 千円	299,220 千円
薬品使用効率 (A) / (B)	89.6%	86.0%

6 検査室業務の状況

(1) 各種検査の状況

(単位：件)

検 査 名	令和5年度	令和6年度	検 査 名	令和5年度	令和6年度
血 液 一 般	179,831	192,228	微 生 物	2,946	4,338
生 化 学 I	419,320	444,733	生 理 検 査	7,500	7,785
生 化 学 II	22,670	23,660	健 康 診 断	10,280	10,799
免 疫 ・ 血 清	22,196	27,119	外 注 検 査	6,188	6,859
検 尿 ・ 一 般	41,127	42,667	そ の 他	27,175	27,819
			合 計	739,233	788,007

(2) 血液製剤使用量(単位数)

血 液 製 剤 名	令和5年度	令和6年度
赤 血 球	476 単位	634 単位
血 小 板	70 単位	440 単位
新 鮮 凍 結 血 漿	26 単位	28 単位
自 己 血	0 単位	0 単位
アルブミン製剤	2,337.5g	2,750g
グロブリン製剤	0g	0g

7 放射線室業務の状況

(単位：件)

業 務 名	令和5年度	令和6年度	業 務 名	令和5年度	令和6年度
一 般 撮 影	7,491	8,990	C T	4,732	4,914
乳 房	413	424	M R I	1,245	1,237
ポ ー タ ブ ル	491	669	R I	91	92
透 視 (造 影)	427	474	骨 塩	182	213
紹介用データ作成	1,057	1,172	合 計	16,206	18,266
OP室イメージ依頼	77	81			

8 リハビリテーション室業務の状況

(単位：単位数)

項 目	令和5年度			令和6年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計
脳血管疾患等リハビリテーションⅠ	1,985	232	2,217	2,195	68	2,263
廃用症候群リハビリテーションⅠ	6,975	60	7,035	9,693	2	9,695
運動器疾患リハビリテーションⅠ	16,897	728	17,625	16,387	524	16,911
呼吸器疾患リハビリテーションⅠ	1,594	0	1,594	1,152	0	1,152
小 計	27,451	1,020	28,471	29,427	594	30,021
退院時リハビリ指導	187	-	187	203	-	203
退院前訪問指導	7	-	7	11	-	11
摂食機能療法	217	-	217	82	-	82
合 計	27,862	1,020	28,882	29,723	594	30,317

9 栄養管理室業務の状況

(1) 患者給食取扱食数 (単位：件)

給 食 名	令和5年度	令和6年度
常 食	21,982	25,399
軟 食	20,845	21,775
流 動 食	2,524	2,940
特 別 治 療 食	21,695	23,588
合 計	67,046	73,702

(2) 個人病態別栄養指導数 (単位：人)

診 療 科 名	令和5年度	令和6年度
外 来	737	685
内 科	701	646
外 科	3	1
整形外科	8	9
泌尿器科	25	29
入 院	428	182
内 科	224	57
外 科	11	6
整形外科	132	90
泌尿器科	61	29
計	1,165	867

(3) 栄養情報提供書実績 (単位：人)

令和5年度	196
令和6年度	127

10 臨床工学室業務の状況

業 務 の 状 況	令和5年度	令和6年度
医 療 機 器 管 理 台 数	438 台	439 台
点 検 率	99%	94.9%
年 間 修 理 件 数	68 件	60 件
修 理 費	194,315 円	42,229 円

11 診療情報管理室業務の状況

内 容		令和 5 年度	令和 6 年度
管理室受領件数(年間)		1,562 件	1,521 件
医師サマリ作成率(退院後14日以内)		99.1%	97.9%
再整備依頼件数(1ヶ月平均)		130.2 件	126.8 件
受領状況	退院から再整備依頼	1.7 日	1.7 日
	再整備から受領	9.7 日	8.5 日
	退院から受領	11.4 日	10.2 日
DPC データ提出 *子様式①、②等、1 患者で複数データが存在		1,827 件	1,988 件
全国がん登録 令和 6 年度提出(2023.1.1～2023.12.31 診断分)		166 件	157 件

*再整備依頼件数(1ヶ月平均)は、令和 2 年度より「項目件数」から「患者件数」に変更して表示

12 総合患者支援室業務の状況

(1) 診療情報提供(逆紹介)件数

	愛媛大学 医学部 附属病院		愛媛県立 中央病院		四国がん センター		松山赤十字 病院		市立八幡浜 総合病院		その他		計	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
内 科	25	30	58	56	12	13	15	25	5	7	83	69	198	200
外 科	5	6	18	9	12	19	3	2	0	0	3	4	41	40
整形外科	2	4	9	6	1	0	2	2	0	1	6	3	20	16
泌尿器科	53	83	35	28	5	7	7	6	2	4	33	43	135	171
眼 科	24	22	7	8	0	0	3	2	0	0	44	34	78	66
耳鼻咽喉科	30	40	3	2	1	0	1	0	1	3	9	7	45	52
皮 膚 科	8	1	0	1	0	0	1	0	0	0	13	3	22	5
神経内科	5	17	0	2	0	0	0	2	1	3	2	33	8	57
計	152	203	130	112	31	39	32	39	9	18	193	196	547	607

(2) 診療情報受付(紹介)件数

	喜 多 医師会管内		八幡浜 医師会管内		西予市 医師会管内		その他		計	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
内 科	192	183	45	42	11	10	67	73	315	308
外 科	42	26	5	3	0	2	10	16	57	47
整 形 外 科	61	59	4	8	3	0	21	19	89	86
泌 尿 器 科	133	157	10	11	5	3	36	47	184	218
眼 科	6	4	0	0	0	1	9	15	15	20
耳 鼻 咽 喉 科	35	21	1	1	0	1	2	2	38	25
皮 膚 科	31	42	0	4	0	0	2	9	33	55
神 経 内 科	34	72	0	0	0	1	5	4	39	77
計	534	564	65	69	19	18	152	185	770	836

(3) 退院支援状況

	R5	R6		R5	R6
自宅(介護連携)	285	280	有料老人ホーム	41	44
〃 (障害・精神)	4	8	老 人 ホ ー ム	10	8
転 医 (医 療)	76	72	グ ル ー プ ホ ー ム	16	13
療 養 病 院	32	53	障 害 者 施 設	3	3
回 復 期 病 院	13	5	救 護 施 設	7	6
訪問看護(当院)	3	33	自 立	14	20
特 老	46	50	死 亡	34	59
老 健 施 設	27	34	合 計	608	688

(4) 患者相談件数

	R5	R6
退院カンファ レンス	202	199
在宅訪問指導	7	8
患 者 相 談	1,646	2,803

13 医療安全対策室業務の状況

(1)事故報告件数

業 務 名	令和5年度	令和6年度	業 務 名	令和5年度	令和6年度
与 薬	0	0	治 療 ・ 処 置	0	0
輸 液	0	0	誤 嚥 ・ 誤 飲	0	0
麻 薬	0	0	検 査	0	0
内 視 鏡 検 査	0	0	食 事	0	0
凍 傷 ・ 熱 傷	0	0	患 者 観 察	0	0
転 倒 ・ 転 落	1	7	医 師 連 絡	0	0
注 射	0	0	チ ュ ー ブ 管 理	0	0
輸 血	0	0	無 断 離 院	0	0
説 明 ・ 接 遇	0	0	そ の 他	1	0
手 術	1	0	合 計	3	7

(2) ヒヤリ・ハット報告件数

ア 部署別

部	署	名	令和5年度		令和6年度		
			件 数	構成比	件 数	構成比	前年増減
医		局	15	1.8%	11	1.3%	▲ 4
看護部		外来(総合患者支援室)	78	9.5%	39	4.8%	▲ 39
	2	病棟	127	15.5%	131	15.9%	4
	3	病棟	89	10.8%	113	13.8%	24
	4	病棟	292	35.6%	308	37.4%	16
		手術室	44	5.4%	52	6.3%	8
		透析室	56	6.8%	36	4.4%	▲ 20
		看護部計	686	83.6%	679	82.6%	▲7
		薬剤室	49	6.0%	25	3.0%	▲ 24
		検査室	5	0.6%	11	1.3%	6
		放射線室	14	1.7%	28	3.4%	14
		リハビリテーション室	15	1.8%	12	1.5%	▲ 3
		臨床工学室	25	3.0%	14	1.7%	▲ 11
		訪問看護ステーション			11	1.3%	11
		栄養管理室	8	1.0%	10	1.2%	2
		事務課	3	0.4%	10	1.2%	7
		情報管理室	1	0.1%	12	1.5%	11
合 計			821	100.0%	823	100%	2
リスク評価		レベル 0	180	21.9%	141	17.1%	▲ 39
		レベル 1	449	54.7%	468	56.9%	19
		レベル 2	110	13.4%	136	16.5%	26
		レベル 3 a	79	9.6%	71	8.6%	▲ 8
		レベル 3 b	3	0.4%	7	0.9%	4
		レベル 4 a	0	0.0%	0	0%	0
		レベル 4 b	0	0.0%	0	0%	0
		レベル 5	0	0.0%	0	0%	0

イ. 領域別（看護部のみ）

領域別分類		令和 5 年度							令和 6 年度						
		2 病棟	3 病棟	4 病棟	手 術	透 析	総合患者 支援室	計	2 病棟	3 病棟	4 病棟	手 術	透 析	総合患者 支援室	計
経験 年数	2 年未満	16	0	61	0	0	1	78	9	1	54	0	0	2	66
	2 年～5 年	19	0	28	16	1	6	70	18	0	36	23	5	1	83
	6 年以上	92	89	203	28	55	71	538	104	112	218	29	31	36	530
多忙 度	非常に多忙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	多忙	68	39	181	20	38	40	386	75	60	165	17	24	22	363
	普通	58	44	111	22	16	37	288	52	51	141	35	12	15	306
	やや余裕あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	余裕あり	1	6	0	2	2	1	12	4	2	2	0	0	2	10
安全 管理 分 類	治療・処置	1	1	3	8	9	0	22	0	2	5	7	3	0	17
	手術	0	0	0	6	0	0	6	1	0	0	14	0	2	17
	麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	輸血	3	0	1	0	1	0	5	0	1	1	0	1	1	4
	チューブ類の管理	23	11	113	1	1	5	154	22	12	152	2	0	1	189
	転倒・転落	29	23	50	0	1	4	107	43	34	54	1	2	1	135
	IC・説明	0	0	1	0	0	2	3	1	0	0	0	0	1	2
	指示	0	0	5	0	7	1	13	7	3	7	5	8	1	31
	患者観察	9	10	22	7	1	1	50	6	14	20	3	7	3	53
	療養上の世話	7	8	22	0	1	0	38	10	13	11	1	0	0	35
	与薬・処方	35	22	44	0	17	13	131	33	24	52	2	3	6	120
	内視鏡検査	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	上記以外の検査	5	6	10	1	7	18	47	0	0	0	0	3	10	13
	食事・栄養	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1
	機械・機器	0	0	4	12	6	2	24	1	4	0	8	7	3	23
	診療情報管理	2	2	5	1	1	21	32	4	2	1	0	2	2	11
	施設管理	2	0	1	4	0	0	7	0	0	0	1	0	0	1
	その他	11	5	10	4	4	10	44	3	4	4	5	0	8	24
リス ク 評 価	レベル 0	20	10	26	19	6	18	99	22	9	11	16	4	9	71
	レベル 1	79	47	179	16	40	47	408	76	63	185	29	28	27	408
	レベル 2	18	16	55	1	3	6	99	19	15	80	5	3	2	124
	レベル 3a	10	16	31	6	7	7	77	11	26	29	2	1	0	69
	レベル 3b	0	0	1	2	0	0	3	3	0	3	0	0	1	7
	レベル 4a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レベル 4b	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レベル 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		127	89	292	44	56	78	686	131	113	308	52	36	39	679

14 訪問看護ステーション業務の状況

項 目		令和6年度	
		実績	月平均
全利用者数		458 人	38.2 人
	医療保険	272 人	22.7 人
	介護保険	186 人	15.5 人
新規利用者数		76 人	6.3 人
	医療保険	41 人	3.4 人
	介護保険	35 人	2.9 人
終了者数		42 人	3.5 人
	医療保険	29 人	2.4 人
	介護保険	13 人	1.1 人
延べ利用者数		2,248 人	187.3 人
	医療保険	1,347 人	112.3 人
	介護保険	449 人	37.4 人
	予防	452 人	37.7 人
延べ訪問回数		2,248 回	187.3 回
	看護師	1,549 回	129.1 回
	作業療法士	699 回	58.3 回

15 その他の業務の状況

(1) 外来医療看護

(単位: 件)

	令和5年度	令和6年度		令和5年度	令和6年度
フットケア実施	467	385	リブレ指導	274	78
腎代替療法	13	26	その他の指導※1	167	144
外来化学療法	351	260	慢性腎臓病透析予防指導※2	—	14
糖尿病透析予防指導	346	307			

※1 その他の指導: 人工肛門管理指導、インスリン指導、生活指導

※2 慢性腎臓病透析予防指導は令和6年7月から

(2) NST実施状況

	令和5年度	令和6年度
対象患者数	210 人	194 人
延実施件数	470 件	368 件

16 主たるクリニカル・インディケーター

(1) 科別主傷病名

退院日：2024.04.01～2025.03.31

診療科	主要疾患名			件数	平均年齢 (歳)	平均在院 日数
内科	J690	食物及び吐物による肺臓炎	誤嚥性肺炎	42	86	24.6
	U071	コロナウイルス感染症2019		40	80	18.5
	J180	気管支肺炎, 詳細不明		37	84	26.4
	K573	穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	大腸憩室出血 結腸憩室症	25	73	8.6
	N390	尿路感染症, 部位不明		25	83	23.6
	K803	胆管炎を伴う胆管結石		23	84	11.1
	K805	胆管炎又は胆のう炎を伴わない胆管結石	総胆管結石 胆のう胆管結石症	22	71	7.5
	I633	脳動脈の血栓症による脳梗塞		20	82	31.3
	E86	体液量減少(症)	脱水症	19	81	22.1
	J101	その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ		14	86	10.1

診療科	主要疾患名			件数	平均年齢 (歳)	平均在院 日数
外科	K409	一側性又は患側不明の単径ヘルニア, 閉塞又は壊疽を伴わないもの		34	71	7.4
	K641	第2度痔核	脱出性内痔核	15	65	7.9
	K802	胆のう炎を伴わない胆のう結石	胆のう結石症	14	67	7.9
	K358	急性虫垂炎、その他詳細不明		9	39	6.6
	L031	四肢のその他の部位の蜂巣炎		7	82	7.7
	K801	その他の胆のう炎を伴う胆のう結石	胆石性胆のう炎	6	69	7.8
	C186	結腸の悪性新生物(腫瘍)下行結腸		5	78	10.8
	C187	結腸の悪性新生物(腫瘍)S状結腸		5	71	14.2
	J931	その他の自然気胸		4	55	8.5
	K402	両側単径ヘルニア, 閉塞又は壊疽を伴わないもの		4	68	7.3

診療科	主要疾患名			件数	平均年齢 (歳)	平均在院 日数
整形外科	M4806	脊椎管狭窄（症），腰部		43	74	27.9
	S3200	腰椎骨折，閉塞性	腰椎圧迫骨折 腰椎破裂骨折	39	75	34.1
	S7210	転子貫通骨折，閉塞性	大腿骨転子部骨折	31	86	50.3
	S7200	大腿骨頸部骨折，閉塞性		17	82	37.5
	S2200	胸椎骨折，閉塞性	胸椎圧迫骨折	15	84	44.8
	S5250	橈骨遠位端骨折，閉塞性		15	70	7.8
	S141	頸髄のその他及び詳細不明の損傷		5	83	39.0
	S4220	上腕骨近位端骨折，閉塞性		5	80	54.2
	S8230	脛骨遠位端骨折，閉塞性		5	70	39.4
	M171	その他の原発性膝関節症		4	86	35.7

診療科	主要疾患名			件数	平均年齢 (歳)	平均在院 日数
泌尿器科	C61	前立腺の悪性新生物	前立腺癌の疑い，前立腺癌	84	74	2.8
	N185	慢性腎臓病，ステージ 5	慢性腎臓病ステージ G5D 末期腎不全	54	73	13.9
	N10	急性尿細管間質性腎炎	急性腎盂腎炎	30	74	12.1
	N201	尿管結石		26	68	6.3
	C674	膀胱の悪性新生物，膀胱後壁		16	75	7.3
	N209	尿路結石，詳細不明	結石性腎盂腎炎	15	77	9.5
	C672	膀胱の悪性新生物，膀胱側壁		14	79	11.0
	I501	左室不全	左室駆出率が低下した心不全	11	76	17.6
	C670	膀胱の悪性新生物，膀胱三角		8	76	8.1
	C675	膀胱の悪性新生物，膀胱頸部		8	75	6.4

(2) 科別手術件数

退院日：2024. 04. 01～2025. 03. 31

診療科	Kコード	術式	件数
内科	K688-00-000	内視鏡的胆道ステント留置術	48
	K654-00-000	内視鏡的消化管止血術	14
	K721-00-001	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2cm 未満）	13
	K685-00-001	内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴う）	9
	K653-00-002	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜）	7

診療科	Kコード	術式	件数
外科	K634-00-000	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	31
	K672-02-000	腹腔鏡下胆嚢摘出術	28
	K743-00-004	痔核手術（脱肛を含む）、根治手術（硬化療法、四段階注射法によるもの）を伴わないもの	12
	K718-02-001	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わない）	10
	K633-00-005	ヘルニア手術（単径ヘルニア）	8

診療科	Kコード	術式	件数
整形外科	K046-00-001	骨折観血の手術（上腕、大腿）	41
	K142-00-005	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）	35
	K046-00-002	骨折観血の手術（前腕、下腿）	21
	K142-00-006	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	18
	K081-00-001	人工骨頭挿入術（股）	9

診療科	Kコード	術式	件数
泌尿器科	K803-00-006	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用によるもの）	43
	K781-00-001	経尿道的尿路結石除去術（レーザーによるもの）	32
	K783-02-000	経尿道的尿管ステント留置術	27
	G005-4	カフ型緊急時ブラッドアクセス用留置カテーテル挿入	23
	K841-00-001	経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	9

(3) 死因別傷病名

退院日：2024. 04. 01～2025. 03. 31

ICDコード	主要疾患名		件数
J690	固形物及び液状物による肺臓炎	誤嚥性肺炎	9
J180	肺炎、病原体不詳	気管支肺炎	6
C250	膵の悪性新生物	膵頭部癌	4
C162	胃の悪性新生物	胃体部癌	3
E86	体液量減少（症）	脱水症	3
I633	脳梗塞	アテローム性血栓性脳梗塞	3
C248	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	肝門部胆管癌	2
B182	慢性C型肝炎	C型肝硬変	2
C220	肝及び肝内胆管の悪性新生物	肝細胞癌	2
J159	細菌性肺炎、他に分類されないもの		2

III 研究発表等

1 学会発表

◆ 内科

1. 能登半島地震における愛媛県 J M A T 活動を通じて経験した災害時の糖尿病診療
有光 英治 平田 哲 小幡 善保 今峰 聡 中西 公王 谷口 嘉康
第 62 回 日本糖尿病学会 中国四国地方会 2024. 12. 6-7 岡山市
2. 糖尿病合併 C O V I D-19 入院患者に i s C G M を用いた血糖管理の有用性
大野 智香 青山 麻衣 土居 泰典 菊池 裕子 井上 和江 菊池 結香、
有光 英治 小幡 善保 今峰 聡 中西 公王 谷口 嘉康
第 62 回 日本糖尿病学会 中国四国地方会 2024. 12. 6-7 岡山市

◆ 泌尿器科

1. 血圧コントロールが不良とがん関連血栓症により透析導入となった一例
小川 智子 武田 肇 佐藤 武司
第 69 回日本透析医学会（横浜） 2024. 6. 7
2. ビタミン E 固定化ヘモダイアフィルター：V-R A の性能評価
前川 哲也 宮川 天聖 久保 昌史 萩森 真菜実 竹内 茂量 松下 浩幸
岩野 哲也 山川 真季 佐藤 秀樹 佐藤 武司
第 69 回日本透析医学会（横浜） 2024. 6. 8
3. 腎移植患者における L O H 症候群の考察
宮内 勇貴 寺下 誠人 坂本 みき 杉原 直哉 佐伯 佳央理 澤田 貴虎
渡辺 隆太 大西 智也 西村 謙一 福本 哲也 三浦 徳宣 菊川 忠彦
雑賀 隆史 島本 憲司 岡 明博 佐藤 武司 武田 肇
第 69 回日本透析医学会（横浜） 2024. 6. 9
4. 悪性疾患の既往のある腎移植患者の臨床的検討
宮内 勇貴 大川 大 坂本 みき 澤田 貴虎 大西 智也 渡辺 隆太
西村 謙一 福本 哲也 三浦 徳宣 菊川 忠彦 雑賀 隆史 荻田 昌敬
野田 輝乙 岡 明博 佐藤 武司
第 60 回移植学会（長崎） 2024. 9. 13
5. A B H-22 P A と比較したビタミン E 固定化ヘモダイアフィルター：V-R A の性能評価（第 2 報）
前川 哲也 宮川 天聖 久保 昌史 萩森 真菜実 竹内 茂量 松下 浩幸
岩野 哲也 毛利 晨佑 佐藤 秀樹 佐藤 武司
第 58 回四国透析研究会（高松） 2024. 10. 13
6. 透析拠点病院としての C O V I D-19 患者の対応と課題
佐藤 恵美 安岡 杏奈 都築 和子 松下 浩幸 毛利 晨佑 佐藤 秀樹

佐藤 武司

第 34 回愛媛人工透析研究会（松山） 2025. 2. 1

7. 当院における腎代替療法選択の現況～保存的腎臓療法（CKM）を選択された症例の経過について～

佐藤 武司

第 3 回愛媛腎代替療法WEBセミナー 2025. 1. 28

8. 愛媛人工透析研究会における災害対策～技士会との協力推進を中心に～

藤方 史朗 前田 明信 石井 博 柳原 豊 二宮 郁 佐藤 武司

荒水 裕 西田 美穂 永渕 克弥

第 34 回愛媛人工透析研究会（松山） 2025. 2. 1

2 原著論文等発表

1. 市立大洲病院における初回バスキュラーアクセス選択の推移

大野 毅 山川 真季 新井 明那 河野 玲奈 宗宮 快 大野 慎介

原 宏二 沢田 雄一郎 佐藤 秀樹 佐藤 武司

西日泌尿. 86 : 232-236, 2024

2. The place and cause of death of Japanese peritoneal dialysis patients

Hideki Oka Yuko Sakurai Taro Kamimura Taichi Murakami Takeshi Sato

Takanari Kitazono and Toshiaki Nakano

Renal Replacement Therapy 2024 10:41

3 研究会発表

◆内科

1. 低 Na 血症の病態に甲状腺機能低下症の関与が示唆された腎不全合併 2 型糖尿病の 1 例

谷口 嘉康

第 24 回日本内分泌学会四国支部学術集会 2024. 9. 7 愛媛大学医学部 40 周年記念講堂

2. 愛媛県における糖尿病性腎臓病重症化予防の取組み－COVID-19 の影響

中西 公王

第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会 2024. 5. 17-19 東京都

3. 当院における糖尿病性腎症予防の取り組み

有光 英治

糖尿病性腎症重症化予防を考える会 2025. 2. 13 八幡浜市

◆放射線室

1. DE-CT カルシウム抑制画像、カラー表示設定の初期検討 ～股関節編～

森岡 諒治

◆ リハビリテーション室

1. 小脳梗塞患者と歩行
山本 晃大
令和 6 年度 愛媛県理学療法士会南予ブロック主催症例報告会 2024. 12. 6 Web
2. 理学療法業務の改善に向けた Excel データベースアプリケーションを使用した取り組み
山本 晃大、茶家 康吉、佐野 友彦
第 14 回医療マネジメント学会 愛媛県支部学術集会 松山市

◆ 臨床工学室

1. 当院の災害対策
松下 浩幸
第 14 回中四国臨床工学会 2024. 9. 21 松山市
2. $\beta 2$ -MG 吸着器リクセルの使用経験
松下 浩幸
愛媛県透析アミロイドセミナー 2024. 11. 7 松山市

◆ 栄養管理室

1. 経管栄養となった悪性リンパ腫の患者に対し、多職種介入および本人の訴えを尊重した結果、経口移行に対し成功した一例
藤原 のぞみ
第 29 回愛媛 N S T 研究会
愛媛 N S T 研究会 株式会社大塚製薬工場 2024. 6. 1 松山市

4 講演、講義、座長

◆ 内科

1. 「2 型糖尿病の薬物治療におけるポイントと最近の話題」
座長 谷口 嘉康
八幡浜糖尿病セミナー 2024. 6. 27 八幡浜市
2. 「済生会松山病院における糖尿病チーム医療」
座長 谷口 嘉康
第 51 回八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研究会 2025. 3. 6 八幡浜市
3. 「糖尿病」とは
講師 有光 英治
大洲市糖尿病予防講座
第 1 回 (2024. 8. 1)、第 2 回 (2024. 11. 28)、第 3 回 (2025. 3. 6) 大洲市

4. 糖尿病Q & A

講師 有光 英治

愛媛県糖尿病対策推進協議会 ラジオ糖尿病セミナー（南海放送ラジオ）

2024. 11. 21 松山市

5. With コロナにおける感染対策

座長 有光 英治、花岡 雅也

第 15 回南予院内感染対策研究会 2024. 7. 5 宇和島市

6. 透析室における感染対策

佐藤 恵美

第 15 回南予院内感染対策研究会 2024. 7. 5 宇和島市

◆ 泌尿器科

1. 講義 慢性腎臓病

佐藤 武司

愛媛大学医学部 4 年生 2024. 4. 26

2. 一般講演 栄養/その他

座長 佐藤 武司

第 69 回日本透析医学会 2024. 6. 9 横浜市

3. 心・腎・代謝疾患を考える会 in 喜多

座長 佐藤 武司

2024. 10. 17

4. Palliative PD 緩和的腹膜透析セミナー

座長 佐藤 武司

2024. 10. 26 松山市

5. 特別講演 能登半島震災での石川県透析連絡協議会の活動と反省

座長 佐藤 武司

第 34 回愛媛人工透析研究会 2025. 2. 1 松山市

◆ 看護部

1. 「高齢者糖尿病患者の療養指導」

演者 大野 智香

第 51 回八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研究会 2025. 3. 6 八幡浜市

◆ 放射線室

1. 放射線室における医療安全

講師 大下 友昭

令和 6 年度 愛媛県診療放射線技師会フレッシューズセミナー 2024. 6. 9 東温市

2. 情報提供

1) Dual Energy Imaging ～臨床活用に向けた取り組み～

2) デジタル X 線 TV システム CUREVISTA

座長 清家 大地

愛媛県診療放射線技師会 南予部会研修会 2024. 9. 28 大洲市

3. 災害医療について ～DMAT 活動を通じて伝えます～

座長 大下 友昭

第 17 回 愛媛県診療放射線技師学術大会 2024. 11. 30 東温市

◆ リハビリテーション室

1. 臨床実習指導方法論②

基本的態度・臨床技能・臨床の思考過程の見学・模倣・実施の実践

講師 吉川 匡希

厚生労働省指定臨床実習指導者講習会（愛媛県講習会） 2024. 6. 29

2. 地域や家庭で気軽に取り組むリハビリテーション

講師 吉川 匡希

令和 6 年度 元気シニア（介護予防）サポーター養成講座

大洲市総合福祉センター 2024. 9. 24

3. 令和 6 年能登半島地震における災害支援活動報告

座長 茶家 康吉

第 52 回リハビリテーション特別研修会 2024. 9. 14 松山市

◆ 栄養管理室

1. 演題「フレイル・サルコペニア予防のための食事について」

発表者 松下 達則

老人クラブ「若宮楽遊会」2024. 6. 6 大洲市

2. 演題「食からはじめる生活習慣病予防」

発表者 都田 慶子、松下 達則

櫛生ふれあいサロン 大洲市社会福祉協議会 2024. 6. 11 大洲市

3. 演題「介護食について」

発表者 松下 達則、毛利 菜月

大洲市健康増進課 2024. 7. 11 大洲市

4. 演題「食事から健康を考える～食事療法のコツ～」

発表者 毛利 菜月

大洲市糖尿病予防講座 2024. 8. 1、11. 26、2025. 3. 6 大洲市

5. 応募「大洲焼咖喱」「大洲〇（まるごと）ラーメン」
発表者 毛利 菜月、藤原 のぞみ、都田 慶子、松下 達則
大洲市ご当地グルメコンテスト 2024. 8. 19 大洲市
6. 演題「食と健康について」
発表者 松下 達則
健康講座おしゃべりサロン
東大洲集会所 大洲市社会福祉協議会 2024. 9. 10 大洲市
7. 演題「指先リハビリになる調理実習」
発表者 松下 達則
大洲隣保館 多田サロン 2024. 12. 9 大洲市
8. 演題「介護食（嚥下食）について」
発表者 松下 達則
食生活改善推進委員教育研修会 2024. 12. 16 大洲市

IV 院内各委員会・研修会の概要

1 委員会一覧

名 称	設置目的（検討事項）等	発足年月日 （規程施行）	委員構成			
			医 師	看 護	診 療	管 理
経営管理会議	病院の基本方針、中長期計画の策定 病院運営に関する事項の決定	従来より (H16. 4. 1)	3	3	2	4
院内連絡会	院長、各所属等からの情報伝達・交換 病院運営に関する事項について協議	従来より	3	11	6	7
倫理委員会	臨床現場での倫理的判断を必要とする事例を 検討するため	H16. 11. 1	3	3	2	4
医局会	院長・副院長・医員からの情報伝達・交換	従来より (H16. 5. 1)	13	1	0	2
薬事審議会	医薬品・特定治療材料等の適正な管理と効率 的な運用について協議	従来より (R3. 4. 1)	13	2	1	0
医療機器等購入審査委員会	医療機器等の機種選定	H3. 2. 23	3	1	1	4
医療安全管理委員会	医療事故防止、医療紛争の適切な解決・処理	H13. 11. 1	2	2	5	2
医療事故調査委員会	医療事故の原因究明と適切な対応協議	H13. 11. 1	2	2	0	2
医療安全対策部会	ヒヤリ・ハット事例の原因分析・具体的防止 策の調査検討	H13. 11. 1	1	6	10	1
医療安全推進連絡会	医療安全対策に係る取組評価等を行う	H28. 1. 1	2	7	4	2
院内感染防止対策委員会	院内感染の予防、感染症発生時の適切な処理 検討	H14. 10. 1	4	4	5	2
院内感染対策チーム	院内感染防止、院内感染蔓延防止、感染予防 の検討	従来より (H14. 10. 1)	1	7	7	1
放射線安全会議	放射線使用等による放射線障害の防止 職員・関係者の身体的安全確保	S60. 4. 1	3	1	2	5
医療ガス安全管理委員会	酸素・各種麻酔ガス・吸引・医療圧縮空気・ 窒素等の医療ガス設備の安全管理	H15. 10. 1	1	8	2	1
衛生管理委員会	職員の健康確保と快適な職場環境づくり	S60. 3. 27	4	11	6	7
診療情報提供委員会	患者と診療情報を共有し、相互に信頼関係を 保ち共同して疾病の克服に寄与する	H12. 4. 1	7	1	1	4
手術室運営委員会	手術・麻酔等の医療行為と手術室看護を円滑 かつ安全に実施	H15. 4. 9	5	1	0	0
輸血療法委員会	安全かつ適正な輸血療法の推進	H15. 12. 1	3	5	2	0
褥瘡対策委員会	院内の褥瘡対策の検討と効果的な対策の推進	H14. 8. 1	1	6	1	1
診療録管理委員会	診療録管理業務の円滑な運営	H14. 12. 1	3	10	7	7

名 称	設置目的（検討事項）等	発足年月日 （規程施行）	委員構成			
			医 局	看 護	医 技	事 務
図書管理委員会	図書の収集と図書室の円滑かつ効率的な運用の検討	H15. 5. 1	1	2	0	1
栄養管理委員会	栄養・給食業務全般の検討、効率的な運営	H15. 11. 20	1	5	4	2
臨床検査適正化委員会	臨床検査の有効利用に基づく医療の質の向上	H12. 4. 1	2	1	2	0
接遇委員会	職員の資質の向上と患者サービスの充実	H16. 4. 1	1	5	1	1
広報委員会	広報活動の円滑かつ効率的な実施	H16. 4. 1	1	2	1	2
TQM活動委員会	業務改善活動の円滑な推進	H16. 4. 1	1	6	2	2
診療材料等検討委員会	診療材料等に関する事項について運営の効率化を図る	H16. 7. 1	3	1	0	4
クリニカルパス委員会	各部署のパスの充実	H17. 4. 1	1	4	4	3
地域医療連携室運営委員会	地域医療の連携を効率的かつ円滑に推進するために必要なシステムの検討	H17. 4. 1	2	5	0	1
化学療法運営委員会	化学療法の円滑な推進	H18. 4. 1	2	2	3	0
DPC（コーディング）委員会	DPC制度の効率的な運用	H21. 8. 1	2	5	3	5
患者サポート委員会	患者サポート体制の充実強化を確保する	H26. 4. 1	1	6	3	1
地域包括ケア病棟運営チーム会	地域包括ケア病棟の円滑な稼働のために設置する	H26. 12. 19	2	6	1	0
認知症ケアチーム	認知症ケアを必要とする患者に対し適切な看護ケアを実施する	H28. 9. 1	1	7	4	0
糖尿病透析予防チーム	合併症の軽減、糖尿病患者の透析への進行予防を図る	H24. 4. 1	2	7	6	0
情報システム管理運営委員会	各種業務の電算処理及び情報管理に関し協議を行う	H22. 11. 17	3	10	7	6
糖尿病チーム	糖尿病患者のQOL向上	H15. 4. 1	1	7	4	0
栄養サポートチーム委員会	適切な栄養療法を医療チームにより選択、実施する	H23. 4. 1	3	5	8	0
災害医療準備チーム会	災害時における医療体制の継続を図る	H25. 4. 1	1	11	8	3

2 各委員会の活動状況

◆ 経営管理会議

(1) 目的

病院の基本方針等、病院運営に関する事項を協議決定する。

(2) 令和6年度の活動回数

10回（第2水曜日開催）

(3) 令和6年度の主な活動

- ①病院運営・基本方針等に関することについて
- ②予算、決算等病院財務に関することについて
- ③令和6年度重点目標（年次事業計画）について
- ④経営強化プランの目標と達成状況について
- ⑤職員採用試験について
- ⑥診療報酬改定への対応について
- ⑦訪問看護ステーションの運営状況について

◆ 院内連絡会

(1) 目的

院長、各所属等からの情報伝達・交換および病院運営に関する事項について協議する。

(2) 令和6年度の活動回数

10回（第4金曜日開催）

(3) 令和6年度の主な活動

- ①各種病院運営に関する事項の情報伝達
- ②各部署からの報告等

◆ 倫理委員会

(1) 目的

院内で発生する倫理的問題について、審議・審査する。

(2) 令和6年度の活動回数

4回（8件）

(3) 令和6年度の主な活動

- ①「ストーマ管理における多職種県警について NST介入による栄養不良予防できた一例」について
- ②「コロナ感染後の経口摂取不良に対する栄養管理・経口摂取継続に関する取り組み」について
- ③「経管栄養となった悪性リンパ腫の患者に対し、多職種介入および本人の訴えを尊重した結果、経口移行に対し成功した一例」について
- ④「経口摂取不良・低栄養患者に対し多職種介入にて、経口摂取に移行となった一例」について
- ⑤「愛媛県における切除不能尿路上皮癌に対する薬物治療の治療成績と予後に関する多機関共同観察研究」について
- ⑥「愛媛県下膀胱全摘術の治療成績および予後因子に関する多機関共同研究」について
- ⑦「能登半島地震における愛媛県JMA T活動を通じて経験した災害時の糖尿病診療」について

- ⑧「当院において 2023 年から 2024 年の間で、透析カフ型カテーテル感染症についての検討」について

◆ 医局会

(1) 目的

院長・副院長・医員からの情報伝達・交換を行い意思疎通を図る。

(2) 令和 6 年度の活動回数

10 回（毎月第 2 金曜日開催）

(3) 令和 6 年度の主な活動

- ①医局会への伝達、依頼事項
- ②施設基準、診療報酬改定について

◆ 薬事審議会

(1) 目的

市立大洲病院における薬事に関する事項について運営の効率化を図る。

(2) 令和 6 年度の活動回数

10 回（毎月第 2 金曜日開催）

(3) 令和 6 年度の主な活動

- ①薬品の採用及び中止の可否
- ②薬品の在庫、保管の適正化
- ③薬品の添付文書の改定の報告
- ④出荷制限薬剤の情報提供

◆ 医療安全管理委員会

(1) 目的

医療事故防止対策の充実及び医療事故発生時における迅速な対応と医療安全管理体制の充実を図る。

(2) 令和 6 年度の活動回数

9 回

(3) 令和 6 年度の主な活動

- ①MRI についての検討及びマニュアル改定について
- ②インシデント事例から、2 病棟の個室の窓にロックの施錠を設置してはどうかの検討
- ③頭部打撲後の頭蓋内出血を発症した事例から、頭部打撲時のフローチャートを作成した内容を検討

◆ 医療安全対策部会

(1) 目的

医療安全対策と患者の安全確保を推進し、医療事故防止対策を実効あるものにする。

(2) 令和 6 年度の活動回数

部会 12 回、看護部会 11 回

(3) 令和 6 年度の主な活動

- ・調査分析チーム
- ①与薬ヒヤリハット（点滴・注射・内服 etc）の発生要因分析より、要因の高い項目の環境を整備し事故を未然に防ぐ。与薬ラウンド年 2 回実施。

②転落・転落防止の推進を行い、安全な療養環境を整える。

(点滴・注射・内服)の発生要因分析より、要因の項目の環境を整備し、医療事故を未然に防ぐ
環境(定期)ラウンド (定期6回)

転倒転落発生時の臨時ラウンド31件実施

転倒転落発生時の対策は、72.4%実施があり、再評価56.7%であった

・教育チーム

医療安全研修会に対する意識向上と連携強化

医療安全研修会へ全員参加

eラーニング受講を啓蒙、放射線に関するWEB視聴(医師、看護師)KYT研修

MRI研修会4回実施

・広報チーム

医療安全へ意識向上

医療安全週間の周知徹底

医療安全に関する情報共有

医療安全新聞の発行 年3回(WEB発信)

◆ 医療安全推進連絡会

(1) 目的

医療安全対策に係わる取組の評価を行うため、対策室内に医療安全推進連絡会(以下、「連絡会」という)を置く。連絡会は委員会の構成員及び医療安全推進担当で構成し、週1階程度、取組評価のためのカンファレンスを開催する。

(2) 令和6年度活動回数

11回

◆ 院内感染防止対策委員会

(1) 目的

医療関連感染の予防および感染症発生時における処理を適切に行うために必要な事項を検討する。

(2) 令和6年度の活動回数

12回

(3) 令和6年度の主な活動

①新型コロナウイルス感染症対策に関すること

②インフルエンザ・感染性胃腸炎に関すること

③医療関連感染ラウンドに関すること

④耐性菌等の医療関連感染予防対策に関すること

⑤職員の職業感染予防策(流行性ウイルス疾患、針刺し切創・皮膚粘膜汚染など)に関すること

⑥院内感染対策マニュアル改定に関すること

⑦感染対策地域連携に関すること

◆ 院内感染対策チーム会

(1) 目的

医療関連感染の予防および感染症発生時における処理を適切に行う。

(2) 令和6年度の活動回数

12回

(3) 令和6年度の主な活動回数

①ICT ラウンド（医療関連感染・環境ラウンド1回/週 抗菌薬適正使用支援チームラウンド1回/週）

②コンサルテーション 651件（うち 他施設57件 事務課55件 医局61件）

③院内感染対策研修会

- ・eラーニング 6月～2月 「感染対策の基本を学ぶ!標準予防策とゾーニング」
「基礎から学ぶ!インフルエンザ対策～新型コロナウイルス感染症も含めて～」
- ・集合WEBハイブリッド研修 延べ2回
「知っておきたい感染症（COVID-19を中心に）」

④抗菌薬適性使用講習会

- ・eラーニング 6月～2月 「医療従事者として知っておきたい抗菌薬の取り扱い」
- ・集合WEBハイブリッド研修 延べ2回
「感染症と薬物治療」

⑤対象限定研修会

- ・新規採用者1回 中途採用研修2回 看護師延べ11回 看護補助者1回
- ・新興感染症対策研修4回 4病棟看護補助者1回 清掃職員1回
- ・愛媛大学地域医療看護実習1回 愛媛医大学インターンシップ1回
- ・人間環境大学実習生3回 帝京第五高校実習生3回
- ・四国医療技術専門学校学生1回 中学生職場体験2回

⑥院外施設研修

- ・特定医療法人弘友会 加戸病院 7/30
- ・養護老人ホーム大洲市清和園 9/3
- ・大洲喜多特別養護老人ホームとみす寮 6/19
- ・障害者支援施設 希望の森 11/29
- ・大洲市社会福祉協議会 サロン事業 御幸の会 10/9
- ・八幡浜保健所主催 令和6年度 感染症対策マネージャー養成研修会 10/7
令和6年度 感染症対策マネージャー連携会議 3/7

⑦相互ラウンド

- ・JCHO 宇和島病院

⑧感染対策地域連携カンファレンス

- ・喜多医師会、特定医療法人弘友会加戸病院、医療法人広仁会広瀬病院、八幡浜保健所（4回/年）
- ・市立宇和島病院、県立南宇和病院、西予市民病院、宇和島市立吉田病院、
鬼北町立北宇和病院、西予市立野村病院、宇和島市立津島病院、宇和島保健所他（4回/年）

(4)令和6年度の主な活動内容

①新型コロナウイルス感染症対策に関すること

②ICT ラウンドに関すること

③手指衛生サーベイランス（擦式アルコール製剤使用量、手指衛生評価・指導）

④院内感染対策マニュアル改正等に関すること

- ⑤抗菌薬適正使用支援に関する事
- ⑥各種分離菌のサーベイランスに関する事
- ⑦中心静脈関連血流感染サーベイランスに関する事
- ⑧厚生労働省院内感染対策サーベイランスに関する事
- ⑨尿道留置カテーテル関連感染サーベイランスに関する事
- ⑩他施設との感染対策連携に関する事（相談・カンファレンス・出前講座・相互ラウンド）
- ⑪職業感染対策について（新規採用者 HB ワクチン、流行性ウイルス疾患抗体価検査・ワクチン接種、インフルエンザワクチン接種他）
- ⑫針刺し切創・粘膜汚染防止対策に関する事

◆ 医療ガス安全管理委員会

(1) 目的

酸素・各種麻酔ガス・吸引・医療圧縮空気・窒素等の医療ガス設備の安全管理を図る。

(2) 令和6年度の活動回数

3回

(3) 令和6年度の主な活動

- ①医療ガス設備保守点検に伴う職員教育
- ②中央材料室の特定物質に関わる作業環境の安全確認
- ③エチレンオキサイドガス、ホルムアルデヒド定期測定
- ④医療ガス購入実績報告書の提出

◆ 手術室運営委員会

(1) 目的

手術、麻酔等の医療行為と手術室看護を円滑かつ安全に実施する。

(2) 令和6年度の活動回数

51回

(3) 令和6年度の主な活動

- ①使用機器の修繕及びそれに伴う予定手術の調整依頼
- ②外科系医師（麻酔科・外科・整形外科・泌尿器科）のコロナワクチン接種日について
- ③次年度医療機器購入計画について
- ④年未年始の緊急手術運営について

◆ 輸血療法委員会

(1) 目的

安全かつ適正な輸血療法の実施を推進する。

(2) 令和6年度の活動回数

6回

(3) 令和6年度の主な活動

- ①院内における血液製剤使用及び廃棄状況の報告
- ②アルブミン、グロブリン製剤使用状況の報告
- ③愛媛県輸血療法委員会合同会議の報告
- ④令和6年血液製剤適正使用に関するアンケート調査について

⑤令和6年血液製剤使用実態調査について

◆ 褥瘡対策委員会

(1) 目的

院内における褥瘡対策を討議検討し、その効果的な推進を図る。

(2) 令和6年度の活動回数

10回

褥瘡回診及び環境ラウンド 42回（毎週月曜日）

体圧分散マット使用状況確認 12回（毎月1回）

(3) 令和6年度の主な活動

- ①褥瘡患者、危険因子保有者状況の把握
- ②褥瘡回診の実施と回診後のケースカンファレンス
- ③環境ラウンド結果集計、分析評価
- ④発生予防に必要な知識や情報を「瓦版」に掲載しWEBで周知
- ⑤集合研修の代わりに、e-ランニングを活用
- ⑥DESING-®2020評価についての伝達講習会、計画実施
- ⑦予防物品の紹介・検討
- ⑧褥瘡対策計画書の作成について周知
- ⑨スキンテア発生マニュアル見直し

◆ 図書管理委員会

(1) 目的

図書の収集と図書室の円滑かつ効率的な運用を図る。

(2) 令和6年度の活動回数

12回

(3) 令和6年度の主な活動

- ①購入希望図書の調査、新刊図書の通知
- ②書籍処分や書架の清掃
- ③図書台帳の加除整理

◆ 栄養管理委員会

(1) 目的

栄養管理業務及び栄養管理室の円滑かつ効率的な運営を図るため、必要事項の検討を行う。

(2) 令和6年度の活動回数

4回

(3) 令和6年度の主な活動

- ①令和6年度 栄養管理室 部署目標の設定
- ②低リンミルクについて
- ③診療報酬改定について（GLIM基準）
- ④朝食、特別メニュー実施メニューについて
- ⑤入院時食事療養費（Ⅰ）に係る報告書について
- ⑥減塩7g醤油バックについて（報告）

- ⑦嚥下食レベル4について（報告）
- ⑧特別メニュー実施についての調査・報告・計画
- ⑨嗜好調査について実施・報告
- ⑩次年度医療機器購入の検討
- ⑪フードドライブ食について実施・報告
- ⑫冷凍レモンについて
- ⑬勤務次回の割り振り変更について

◆ 臨床検査適正化委員会

- (1) 目的
臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行う。
- (2) 令和6年度の活動回数
1回
- (3) 令和6年度の活動内容
 - ①外部精度管理結果報告と精度向上に関する指導
 - ②業務改善計画についての検討

◆ 接遇委員会

- (1) 目的
病院の理念を実現するために、職員としてのマナーを身につけ患者サービスの提供に資する。
- (2) 令和6年度目標
職員一人一人が接遇への意識を高める
- (3) 令和6年度の活動回数
9回
- (4) 令和6年度の主な活動
 - ①接遇啓蒙活動 接遇標語掲示（3か月間）4回/年
 - ②接遇研修会 対象者：全職員 12月
 - ③患者満足度調査の実施 1回/年
 - ④市立大洲病院「接遇マニュアル」読み合せ
 - ⑤接遇研修：eラーニング研修 対象者：全職員

◆ TQM活動委員会

- (1) 目的
患者様に良質で安全な医療を提供し、業務改善活動の推進を図る。
- (2) 令和6年度の活動回数
委員会 9回
院内活動発表会 1回 令和7年3月18日（火）17：20～18：50
- (3) 令和6年度の主な活動
 - ①TQMの基礎知識を学ぶ学習会
 - ②他職種協同による業務改善活動の実施
 - ③TQM発表会
- (4) 活動発表会内容

- ①放射線室 チーム名：RaTecc
「停電復旧時の点検」
- ②2病棟 チーム名：ぴっちのけんとうー はいよろこんでー
「●電話対応について」～PHS 表の活用～ ●観察項目のセット化
- ③中材手術室 チーム名：オペグループ
「手術伝票テンプレート作成による仕事効率の上昇」
- ④リハビリ室 チーム名：リハビリ師たち
「屋外歩行訓練を安全に行うために」
- ⑤事務課 チーム名：チーム大藤
「診療報酬の管理体制について」
- ⑥3病棟 チーム名：みんなで楽しく過ごし隊
「病棟レクリエーションの活用」
- ⑦4病棟 チーム名：Re セット化計画チーム
「この患者さんのなにを看たらいいの？ ～そんな時！どうぞご参照ください！～」
- ⑧栄養管理室 チーム名：おむずびコロコロ
「栄養補助食品を正しく利用しよう！」

◆ クリニカルパス委員会

(1) 目的

医療内容を標準化しチーム医療を行うことで医療資源を効率的に使用し医療の質の向上を図るためのツールとしてクリニカルパスを啓発、普及することにより、患者様に対して安定した医療サービスの提供に資することを目的とする。

(2) 令和6年度の活動回数

9回

(3) 令和6年度活動内容

- ①パス使用状況の把握と問題点検討
- ②パス作成 5件
- ③パス修正 4件
- ④稼働状況分析 1件
- ⑤「クリニカルパスの基礎」について講習会の実施(委員会メンバー対象)

◆ 地域医療連携推進運営委員会

(1) 目的

地域医療の連携を効果的かつ円滑に推進するために必要なシステムの検討とよりよい療養環境の提供に資する。

(2) 令和6年度の活動回数

3回

(3) 令和6年度の主な活動

- ①訪問看護新規登録者の増加に向けた取り組み
- ②在宅看取りの現状について情報共有
- ③他院の診療状況の情報共有
- ④レスパイト入院の受け入れについて（近隣病院の現状報告）

- ⑤診療報酬改定に伴う加算算定について
- ⑥退院支援困難事例の増加による支援介入の増加
- ⑦皮膚科の指示による訪問看護の増加
- ⑧施設との面談実績の報告
- ⑨病院機能評価受診後の紹介状一元管理についての取り組み

◆ 化学療法運営委員会

- (1) 目的

化学療法の円滑な推進を図る。
- (2) 令和6年度の活動回数

1回
- (3) 令和6年度の主な活動
 - ①運営マニュアルの見直し
 - ②新規レジメンの採用
 - ③追加レジメンの見直し・追加
 - ④その他(外来腫瘍化学療法診療料1・無菌製剤処理加算、後発医薬品採用)
 - ⑤閉鎖式接続器具(ネオシールド)病棟への使用方法指導
 - ⑥アルコール含有抗がん剤を投与する際の注意事項・患者向けパンフレット作成

◆ 診療情報管理委員会

- (1) 目的

診療情報管理業務の円滑かつ効率的な運営を図る。
- (2) 令和6年度の活動回数

10回
- (3) 令和6年度の主な活動
 - ①診療情報に係る整理業務と再整備依頼内容に関すること
 - ②DPC登録(様式1)登録業務に関すること
 - ③退院時要約作成率に関すること
 - ④主傷病名情報に関すること
 - ⑤診療録監査に関すること
 - ⑥医療機関係数に関すること
 - ⑦(データ/病床)比、データ数、適切なDPCデータの作成に係る指標について

◆ DPC(コーディング)委員会

- (1) 目的

DPC/PDPS制度対象病院として、DPC調査事務局への適切なデータ提出と病院の健全経営に向けた取り組みを行う。
- (2) 令和6年度の活動回数

DPC委員会・コーディング委員会 各4回
- (3) 令和6年度の主な活動
 - ①DPC登録(様式1)の適切な入力に関すること
 - ②適切な傷病名コーディングに関すること

③提出データの分析に関すること

◆ 患者サポート委員会

(1) 目的

医療従事者と患者の対話を促進し、良好な関係を築くこと。また、患者とその家族等に対する支援体制を構築する。

(2) 令和6年度の活動回数

46回（毎週水曜日開催）

(3) 令和6年度主な活動

- ①患者相談窓口での相談件数、内容共有・検討・意見交換
- ②対応困難事例の共有・検討
- ③苦情に対する内容共有・検討
- ④救急患者への処方お渡し忘れの事例について
- ⑤入院患者の外線電話の取り次ぎ拒否について
- ⑥夜間死亡退院する場合の病棟・事務課（守衛）間の情報共有・対応手順検討
- ⑦正面玄関の冷気防止対策
- ⑧玄関前の傘立ての整理整頓
- ⑨転院受け入れ患者の対応について
- ⑩インフルエンザ・コロナワクチン接種の受付について
- ⑪在宅医療支援系の業務について
- ⑫訪問看護指示書、材料算定方法について
- ⑬不審電話の注意喚起
- ⑭大規模停電時の情報共有
- ⑮マイナ保険証利用について
- ⑯介護保険意見書記載について
- ⑰カスタマーハラスメント事案について
- ⑱急性呼吸器感染症定点報告方法について

◆ 地域包括ケア病棟運営チーム会

(1) 目的

地域包括ケア病棟の稼働を円滑に行うために検討を行う。

(2) 令和6年度の活動回数

46回

(3) 令和6年度主な活動

- ①地域包括ケア病棟及び、急性期病棟の運営状況の情報共有
- ②地域包括ケア病棟入院患者の選定検討
- ③他院からの転院相談の共有
- ④その他、地域包括ケア病棟の管理を行う上での必要事項の情報交換

◆ 認知症ケアチーム会

(1) 目的

- ①認知機能の低下により、入院生活を継続することが困難な患者に対して早期から関わり、適切なケア

を行うことで行動・心理症状/周辺症状（BPSD）の悪化予防・改善に努め、入院前の生活の場所に退院できるよう支援を行う。

- ②患者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、職員一人ひとりが身体的・精神的被害を理解し、緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束をしないケアの実践を支援し、身体的拘束の最小化を推進する。

(2) 令和6年度の活動回数

委員会 11回

ラウンド 47回、カンファレンス患者数155人、週1回)

研修会 ・3/25、3/27 3テーマ 「睡眠と認知症」

「身体的拘束最小化に向けて」

「Let's try コグニサイズ♪」

・E-ラーニング受講 「一般急性期の現場における身体拘束を考える」

(3) 令和6年度の主な活動

- ・認知症ケアチーム会ラウンドの実施（木曜日／週）
- ・認知症高齢者日常生活自立度判定実施状況の確認
- ・せん妄リスク因子チェックリスト実施状況の確認
- ・チーム会での学習会
- ・全体研修会の運営、開催

◆ 糖尿病透析予防チーム会

(1) 目的

各職種の専門性を活用して、地域の医療従事者や市民に貢献する。

(2) 令和6年度の活動回数及び活動内容

①チーム会： 12回

②糖尿病教室：50回 毎週金曜日（第1週金曜日～第4週金曜日 14：00～14：30）

参加患者数 入院患者91人 外来患者16人 参加実習生 29人 計136人

③世界糖尿病 Day イベント：大洲城天守閣ブルーライトアップ（11/14） 参加人数：14人

④糖尿病患者の合同カンファレンス（糖尿病教室実施時の13：30～14：00）

⑤外来フロアでのビデオ方式講義（毎週火曜日・木曜日10：30～12：00）

⑥第49回 八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会（7/25）

⑦第50回 八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会（11/28）

発表者 栄養管理室 毛利菜月 薬剤室 河野由紀

⑧第51回 八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会（R7.3/6） 発表者 看護部 大野智香

⑨In Body（高精度体成分分析装置）の説明会（7/5）

⑩DNP 検査の説明会 ＜看護師・クラーク対象＞（8/8）

⑪健康講座（保健センターより依頼）（8/1、11/28、R7.3/6）

◆ 栄養サポートチーム委員会（NST委員会）

(1) 目的

医療チームによる適切な栄養管理を実施し、治療効果及び QOL の向上、合併症の軽減、在院日数及び医療費の削減など医療の質的向上を図る。

(2) 令和6年度の主な活動

41回、回診数368件（週1回）

(3) 令和6年度の主な活動

①NST回診の実施（金曜日/週）

②栄養アセスメントによる栄養不良患者の抽出、評価及び問題症例の検討を実施

③対象患者の栄養療法に関する評価、提言を主治医へ報告

④言語聴覚士と連携し、嚥下困難者の抽出及び栄養改善への取り組み強化

⑤症例検討会の実施

◆ 災害医療準備チーム会

(1) 目的

災害時における医療提供体制の継続を図るため、院内災害防止対策を検討するとともに推進する。

(2) 令和6年度の活動回数

10回

(3) 令和6年度の主な活動

①災害対策の検討及び実施

②各部署において、状況に応じた防災訓練の立案及び実施

③南海トラフ巨大地震を想定した全体災害訓練の実施

④院内全体の連絡網「エルガナ」を活用した災害連絡訓練の実施

3 院内研修活動の状況

(看護部主催の研修会は別途掲載)

研修名	実施日	研修内容（目的）	主催	対象者	出席者数
第1回医療安全対策研修会 (eラーニング)	6月1日～ 2月28日	心理的安全性と医療安全 組織における心理的安全性低下 のサイン 組織の心理的安全性をベースと する転倒転落対策の実践	医療安全 対策部会	全職員	視聴率 94%
第2回医療安全管理薬剤 研修会	7月25日	医療用麻薬について	医療安全対策部会 緩和ケア推進 チーム会	新人 及び希望者	20人
第3回K Y T（危険予知 トレーニング）研修会	11月28日	危険予知トレーニング	医療安全 対策部会	看護師 及び希望者	9人
第4回N I P—V E 医療 機器研修会	12月11日 12月13日	N I P—V E 医療機器について	医療安全 対策部会	看護師 臨床工学士	18人
第5回医療安全対策部会 実践報告会（動画視聴）	3月24日 ～ 4月6日	実践の報告	医療安全 対策部会	全職員	123人
第6回医療安全対策研修会	3月15日～ 3月31日	診療用放射線の安全利用	医療安全 対策部会	医師、看護師 診療放射線技師	124人
第1回院内感染対策研修会 (eラーニング)	6月～2月	標準予防策とゾーニング インフルエンザ対策	院内感染対策 チーム会	全職員	207人
第2回院内感染対策研修会 (集合・WEB)	9月6日 11月6日	知っておきたい感染症	院内感染対策 チーム会	全職員	194人
第1回抗菌薬適性使用講習会 (eラーニング)	6月～2月	抗菌薬の取り扱い	院内感染対策 チーム会	全職員	173人
第2回抗菌薬適性使用講習会 (集合・WEB)	9月6日 11月6日	感染症と薬物治療	院内感染対策 チーム会	全職員	194人
看護補助者 感染対策 研修会	5月9日	標準予防策 (手指衛生と個人防護服の脱着)	看護補助者会	看護補助者	9人
職業感染対策研修会	5月20日 5月29日 6月20日	安全機能付きペン型インスリン針 の導入について	院内感染対策 委員会	看護師	77人
清掃職員対象感染対策 研修会	8月22日	手指衛生	院内感染対策 チーム会	院内清掃職員	8人

研修名	実施日	研修内容（目的）	主催	対象者	出席者数
新型コロナウイルス感染症 環境整備研修	11月14日	新型コロナウイルス感染症に 対応した個人防護具の選択等	院内感染対策 チーム会	4病棟 看護補助者	3人
新興感染症対策研修会	11月27日 12月12日	N95マスク装着訓練	院内感染対策 チーム会	多職種	45人

V 看護部の活動概況

1 看護部の理念・基本方針・目標

(1) 看護部理念

私たちは、やさしさと・気づきと・思いやりのある看護を提供し、地域の皆様の期待に応えられる看護を実践します。

(2) 看護部基本方針

- ① チーム医療の一翼を担い皆様の健康づくりを支援します。
- ② 患者様との関わりを大切にし、信頼関係を築きます。
- ③ 患者様の権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、患者様が参加できる看護を提供します。
- ④ 専門性を発揮し、エビデンスに基づく安全で安心できる看護を提供します。
- ⑤ 働きやすい職場づくりを目指します。

(3) 令和6年度看護部目標

- ① 在宅関係機関との連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築に努めます。
- ② チーム医療を推進した、質の高い看護専門職の役割を発揮します。
- ③ 心理的安全性の高い職場環境を整備します。

2 部署別目標

(1) 総合患者支援室(外来係)目標

- ① 患者・家族の思いを大切にしたい切れ目のない外来看護を提供します。
- ② 自分に優しく、そして他者にも優しくなる職場環境の中で最高のパフォーマンスを発揮します。

(2) 手術係(中央材料室)目標

- ① 安心・安全・安楽な周術期看護を提供します。
- ② コスト意識を持ち、適正な物品管理を行います。

(3) 人工透析係目標

- ① 多職種と協働し、患者・家族とともに安全・安心な看護の提供をします。
- ② 自分の意見が自由に言える心理的安全性の高い、働きやすい職場環境を作ります。
- ③ 災害時の透析医療を患者・家族とともに構築します。

(4) 2病棟係目標

- ① 互いに尊敬し合うコミュニケーションを実践し、心理的安全性の高い環境を作ります。
- ② 個人が自立的に考え行動し、チームで協働し、より質の高い看護の実践を行います。

(5) 3病棟係目標

人(患者家族、スタッフ)を思いやり、自ら行動できる人材育成と職場環境を作ります。

- ① 退院支援のスペシャリストとして、患者・家族が安心して過ごせる未来を考えた退院支援に努めます。
- ② 個々の個性を尊重し、それぞれの長所を活かして活躍できる環境を作ります。

(6) 4病棟係目標

雑相から心理的安全性を高め、創造的な内科看護の提供と働きがいを高めます。

「人を大切にする～その人らしさを支える」

3 研修実績

(1) 院内研修実績〔令和6年度〕

ラダーレベル	月	研修会名等	主催	参加人数
新人	4月～ R7.3月	滅菌・清潔操作・移動の方法・固定・吸引・輸液ポンプ・シリンジポンプの操作方法・採血・注射・救命処置(BLS+AED)・死後のケア・IV療法・人工呼吸器・ハイフローニップ・導尿・バルンカテーテル留置・退院支援・接遇・院内感染・医療安全・看護記録・看護必要度・電子カルテ・災害看護褥瘡ケア、輸血、経管栄養 多重課題研修・ローテーション研修 メンタルヘルス e-ラーニング基礎習得コースを視聴	教育委員会	3人 全て受講
I・II		e-ラーニング共育コースを視聴	教育委員会	10人
III・IV		e-ラーニング共育コースを視聴	教育委員会	61人
V		e-ラーニング看護管理コースを視聴	教育委員会	11人
副師長		e-ラーニング看護管理コースを視聴	教育委員会	13人
師長～部長		e-ラーニング看護管理コースを視聴	教育委員会	8人
看護部全体	9月	IV療法レベルⅠ研修:院内認定コース(重複)	教育委員会	3人
	10月～ R7.1月	IV療法レベルⅡ研修:院内認定コース(重複)	教育委員会	23人
	11月	IV療法レベルⅢ研修:院内認定コース(重複)	教育委員会	4人
	R7.1月	ケーススタディ発表会(3人発表)	副看護師長会	28人
	6月～10月	看護必要度指導者研修	記録委員会	13人
	6月～ R7.2月	看護必要度 e-ラーニング視聴研修	記録委員会	97人
	6月～ R7.2月	倫理気づき報告書検討会(倫理)	看護部全体会	115人
看護補助者	5月	感染実技研修・e-ラーニング視聴研修 「感染対策の基本と標準予防策」「手指衛生と標準予防策の必要性」	花岡雅也 看護補助者会	10人
	6月	食事介助研修・e-ラーニング視聴研修 「食事にまつわる基礎知識」「食事介助の基本」「誤嚥や窒息を予防するための注意点」	看護補助者会	11人
	7月	移動実技研修・e-ラーニング視聴研修 「移動介助のコツ」「移動のお世話」	看護補助者会 茶家 PT	12人
	9月	倫理事例研修会 「心に残った倫理的な出来事」検討会	看護補助者会	11人
	10月	おむつ装着について 実技研修	看護補助者会	12人
	11月	骨折予防・接遇 e-ラーニング視聴研修 「二次性骨折予防のために」「信頼関係を築く医療接遇のあり方」	看護補助者会	13人
	12月	身体拘束 e-ラーニング視聴研修 「急性期における身体拘束の現状」	看護補助者会	13人

		「身体拘束の倫理的なジレンマ」 「急性期病棟での身体拘束最小化をめざすために」		
	R7.1月	安全・感染 e-ラーニング視聴研修 「心理的安全性と医療安全」「組織における心理的安全性低下のサイン」「組織の心理的安全性をベースとする転倒・転落対策の実践」 「インフルエンザの特徴と症状」「インフルエンザの診断と治療」「インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の感染対策」	看護補助者会	12人
	R7.2月	看護補助者関連コース e-ラーニング視聴研修	看護補助者会	12人
	R7.3月	災害に関する e-ラーニング視聴研修 「災害時の医療ニーズに応える多職種間との連携」 「災害関連死を防ぐ医療機関の対応」 「災害に強くなるための平時の備え」	看護補助者会	11人

(2) 院外研修実績〔令和6年度〕

月	研修名	主催	参加人数
5月	指導者のための臨床看護研究の指導・支援のポイント	愛媛県看護協会	2人
	リスク感性を向上！医療安全活動を変える1	愛媛県看護協会	1人
6月	フィジカルアセスメント	愛媛県看護協会	4人
	看護研究Ⅰ	愛媛県看護協会	1人
	高齢者の緩和ケア～緩和ケアアプローチの基本原則を学ぶ～	愛媛県看護協会	4人
	「学び上手」な人材を育てる「教え上手」を目指す ～教え方の本質を学ぶ～	愛媛県看護協会	4人
7月	経験学習を活かした後輩への指導方法を学ぼう	愛媛県看護協会	2人
	リソースナース全体交流会	愛媛県看護協会	4人
	看護職員の認知症対応現場力向上研修	愛媛県看護協会	1人
8月	新人看護職員研修・実施指導者研修	愛媛県看護協会	2人
	「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	ヴェクソンインターナショナル株式会社	11人
	看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	愛媛県看護協会	5人
	在宅の看取りを学ぶ	愛媛県看護協会	2人
	災害時、自身と患者と病院を守るために～災害時の初動対応～	愛媛県看護協会	6人
9月	看護職員の認知症対応力向上研修	愛媛県看護協会	2人
	フィジカルアセスメント(症状別編)	愛媛県看護協会	6人
10月	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	愛媛県看護協会	7人
	看護師としてワークモライフも楽しむには	愛媛県看護協会	3人
	在宅で看取りを学ぶ(南予会場)	愛媛県看護協会	5人
	臨床倫理とナラティブのススメ～立ち止まり、物語る倫理～	愛媛県看護協会	3人
	医療安全対策に関する交流会	愛媛県看護協会	2人
	災害看護を学ぼう	愛媛県看護協会	1人

12 月	看護過程と看護記録Ⅱ(実践編)	愛媛県看護協会	3 人
	看護職の生涯学習支援に関する情報交換会 JNA オンデマンド	愛媛県看護協会	2 人
	医療安全管理者フォローアップ研修	愛媛県看護協会	2 人
	看護師機能Ⅰ・Ⅱ合同交流会	愛媛県看護協会	1 人
R7.1 月	看護管理者研修～次世代を育てよう～	愛媛県看護協会	1 人
	看護補助者標準研修 –看護補助体制充実加算該当パッケージ–	愛媛県看護協会	3 人

(3) 教育研修実績〔令和6年度〕

月	教育研修名	開催地	研修者氏名
10 月～ R7.1 月	透析療法従事職員研修	日本腎臓財団	都築 和子 土居 泰典 安岡 杏奈
7 月～ R7.2 月	新人看護職員実地指導者研修	愛媛県看護協会	植本 紀代子 宮岡 佳弘
5 月～8 月	認定看護管理者制度ファーストレベル教育	愛媛県看護協会	井上 和江 矢野 里奈
5 月～ R7.1 月	医療コンフリクトマネジメント研修会	日本医療メディエーター協会四国支部	久保田 美智子 村上 誠 白居 沙弥香
10 月	医療安全管理者養成セミナー	全国自治体病院開設者協議会	蔦井 洋子
11 月	ファーストレベルフォローアップ研修	愛媛県看護協会	井上 晃子
	第 62 回全国自治体病院学会	全国自治体病院開設者協議会	高岡 絵美
12 月	認定看護管理者制度セカンドレベル実践報告会	日本看護協会	山本 弘恵
9 月～11 月	保健師助産師看護師実習指導者講習会	愛媛県看護協会	平家 真里
10 月～ R7.1 月	新災害支援ナース養成研修	愛媛県看護協会	蔦井 洋子 阿部 早央理
4 月～ R7.3 月	皮膚排泄ケア認定看護師 特定行為	橘大学	篠崎 利江

4 その他活動実績〔令和6年度〕

(1) 講演、講義、座長

開催日	内容	派遣先	担当者	役割
4 月 9 日	認知症について	柚木	滝本 知重実	講師
10 月 3 日～ 11 月 12 日	帝京専攻科母性看護概論	帝京第五高等学校 看護専攻科	都築 和子	講師
6 月 10 日	感染看護	柚木	花岡 雅也	講師
6 月 13 日	地域と病院のつながりを大切に	大和	山中 志麻	講師
6 月 24 日	救急対応のあれこれ	菅田	向井 直基	講師

6月29日～ 8月16日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル実践計画書支援者	愛媛看護研修センター	平井 サカエ	講師
7月22日	認知症について	喜多	滝本 知重実	講師
9月10日	健康寿命を含めた健康な生活について	長浜	山中 志麻	講師
10月4日	健康寿命を含めた健康な生活について	米津	山中 志麻	講師
10月9日	感染看護	河辺	花岡 雅也	講師
10月10日～ 10月11日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル「人材育成」	愛媛看護研修センター	山中 志麻	講師
10月18日	キャリア支援	県立大洲農業高等学校	土居 泰典 上野 晋也	講師
10月21日	キャリア支援	県立大洲高等学校	向井 直基 花岡 雅也	講師
11月6日～ 12月4日	帝京専攻科災害看護学	帝京第五高等学校 看護専攻科	山本 みか	講師
11月8日	健康寿命を含めた健康な生活について	白滝	山中 志麻	講師
11月26日	災害対策について	肱南	山本 みか	講師
R7.1月30日	認知症との正しい付き合い方	五郎	滝本 知重実	講師
R7.2月10日	腎臓病について	平野	土居 泰典	講師
R7.3月4日	健康寿命を含めた健康な生活について	長浜	山中 志麻	講師

(2) 施設出張講座、公開講座

日時	施設名	内容	担当者
6月19日	特別養護老人ホームとみす寮	感染予防と対策(インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス)	花岡 雅也
7月2日	養護老人ホーム大洲市清和園	認知症ケア	滝本 知重実
9月3日	養護老人ホーム大洲市清和園	感染予防と対策(インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス)	花岡 雅也
9月8日	養護老人ホーム大洲市清和園	身体拘束・虐待	山本 弘恵
9月17日	救護施設大洲幸楽園	急変時の対応 フィジカルアセスメント	向井 直基
10月23日	特別養護老人ホームとみす寮	医療安全・誤薬・転倒転落	山本 弘恵
11月6日	特別養護老人ホームとみす寮	口腔ケア・食事の基本姿勢と介助のポイント	言語聴覚士へ依頼
R7.3月27日	救護施設大洲幸楽園	認知症ケア	滝本 知重実

(3) 健康講座

日時	施設名	内容	担当者
8月1日	大洲市総合福祉センター	健康講座 ～血糖値が気になる方～	有光医師 大野 智香
11月28日	大洲市総合福祉センター	健康講座 ～血糖値が気になる方～	有光医師 大野 智香
R7.3月6日	大洲市総合福祉センター	健康講座 ～血糖値が気になる方～	有光医師 大野 智香

(4) 看護協会・その他の委員、講師等依頼

①愛媛県看護協会 地区別タウンミーティング構成員(八幡浜・大洲地区) 愛媛県病院看護部長・教務責任者協議会役員	看護部長	平井 サカエ
②愛媛県看護協会 医療安全検討委員会委員	副看護部長	山本 弘恵
③愛媛県看護協会 リソース・ナースマネジメント委員会委員 愛媛県看護協会 看護協会あり方検討委員会 日本看護協会 予備代議員	特任看護部長	山中 志麻
④帝京第五高等学校 看護専攻科 母性保健講師 大洲市介護認定審査会委員	看護師長	都築 和子
⑤帝京第五高等学校 看護専攻科 災害看護講師	看護師長	山本 みか
⑥大洲喜多在宅医療・介護連携事業 運営委員 大洲市介護認定審査会委員	看護師長	都築 和子
⑦愛媛県看護協会 災害看護検討委員会委員	看護師長	北福 仁貴
⑧大洲市介護認定審査会委員	看護主任	向居 福見

(5) 院外発表(看護研究・業務改善等)

- ①演題「コロナ禍を経て入職したA病棟における若手看護師が感じている戸惑いや悩みと求められる支援」
看護部 渡邊 弥生
愛媛県看護研究学会 令和7年2月19日(愛媛県民文化会館)
- ②演題「術中 MDRPU 予防におけるスタッフ教育の効果」
看護部 木下 由香
第26回日本褥瘡学会 令和6年9月6日～7日(アクリエ姫路)
- ③演題「二次救急医療機関 A 病院のクリティカルケアの質向上と特定行為、直接動脈穿刺による採血との関連性」
看護部 向井 直基
第25回日本救急看護学会 令和6年11月24日～25日(出島メッセ長崎)
- ④演題「糖尿病合併症 COVID-19 入院患者に isCGM を用いた血糖管理の有用性」
看護部 大野 智香
第62回日本糖尿病学会中四国地方会 令和6年12月6日(岡山コンベンションセンター)

⑤ 演題「A 病院感染症病床における糖尿胃病合併 COVID-19 患者への isCGM の有用性について」
看護部:大野 智香、青山 麻衣、土居 泰典 医師:有光 英治
第 11 回 JADEC 年次学術集会(国立京都国際会館)

⑥ 演題「高齢者糖尿病患者の療養指導」
看護部 大野 智香
第 51 回八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会(八幡浜市市民文化活動センター)

⑦ 演題「新しいことにチャレンジしたくなる環境づくり～看護管理を振り返る～」
看護部 山中 志麻
愛媛県看護協会 リソースナース・マネジメント委員会 全体交流会 令和 6 年 7 月 13 日
(愛媛県看護協会 看護研修センター)

⑧ 演題「役割移行期を経験して」
看護部 山中 志麻
認定看護管理者会中・四国ブロック研修会 実践報告会 令和 6 年 9 月 21 日
(山口県 KDDI 維新ホール)

(6) 院内看護研究発表

① 「全身麻酔外科手術後高齢者のリスクアセスメントと不穏発生者の特徴」
看護部 龍田 諒 令和 7 年 2 月 27 日

(7) 実習受入れ

【看護基礎教育】

愛媛大学医学部看護科との地域医療看護実習
人間環境大学松山看護学部(基礎実習Ⅰ・Ⅱ、成人実習)
帝京高校看護専攻科(成人実習、統合実習)

【職場体験学習】

大洲市立各中学校 (大洲南中学校・平野中学校・大洲北中学校)

【インターンシップ】

愛媛大学医学部看護科
帝京第五高等学校看護専攻科

(8) 認定看護師の活動報告

専門分野	内容
感染管理 (花岡雅也)	<p>・相談件数:651 件(うち 他施設 57 件、事務課 55 件、医局 61 件)</p> <p>・感染対策地域連携に関すること(保健所、医師会、医療機関)</p> <p>・特定行為研修受講(公益社団法人 日本看護協会 神戸研修センター)</p> <p>【院外活動】講師 7 件 (特別養護老人ホーム、救護施設、医療施設、社会福祉施設等)</p> <p>座長:第 15 回南予院内感染対策研修会 令和 6 年 7 月 5 日</p>

専門分野	内容
透析看護 (土居泰典)	【院内活動】 ・「腎代替療法指導管理料(500点)」の算定 指導件数 13 件 ・「糖尿病透析予防指導管理料(350点)」の算定 指導件数 374 件 【院外活動】 ・6月17日 第68回 日本透析医学会・学術集会 一般講演発表「A 病院における腎代替療法選択外来の現状」 ・9月1日 施設研修 さくら苑 「高齢者の生活習慣病と関わり方」
救急看護 (向井直基)	【院外活動】 ・第26回 日本救急看護学会学術集会 研究発表(主研究者)「二次救急医療機関 A 病院のクリティカルケアの質向上と特定行為、直接動脈穿刺による採血との関連性」 ・一般講演発表「A 病院における腎代替療法選択外来の現状」 ・日本救急看護学会主催 外傷初期看護セミナー JNTEC インストラクター ・院外講師 6 件(高齢者施設、看護協会リソースナース、松山刑務所他、大洲高校)

(9) その他

- ◆ 南予地域メディカルコントロール協議会 ICLS ワーキンググループ会議 安岡 杏奈
- ◆ 愛媛県看護協会 災害支援ナース派遣登録者
 <旧災害支援ナース>
 北福 仁貴、上田 賀寿美、向井 直基、一藤 しのぶ、花岡 雅也、村上 誠、二宮 真由美
 <新災害支援ナース>
 山本 みか 安岡 杏奈 令和5年度2名研修修了
 薦井 洋子 阿部 早央理 令和6年度2名研修修了
- ◆ メンタルヘルスケア:大洲子育てサポート「そよ風」の公認心理師による院内活動
- ◆ 令和6年度看護職員復職促進情報発信事業 看護の魅力発信番組「笑顔の看護」出演
 平井 サカエ、龍田 さおり、福住 絵里

VI 訪問看護ステーションの活動状況

1 訪問看護ステーションの概要

名 称	市立大洲病院訪問看護ステーション
開 設 者	大洲市長 二宮 隆久
開 設 年 月 日	令和 6 年 4 月 1 日
事 業 管 理 者	谷口 嘉康
管 理 者	井上 晃子
営 業 日 ・ 時 間	月曜日～金曜日 (ただし、国民の祝日及び12月29日～1月3日までを除く) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 ＊緊急時は 24 時間電話可、必要に応じて訪問
事 業 地 域	大洲市・内子町 ＊当院かかりつけの患者においては個別に検討
職 員 体 制	管理者(看護師) 1 人 看護師 2 人 作業療法士(兼務)1 人 事務員 1 人

2 沿革

平成 16 年 6 月 訪問看護室設置

令和 6 年 4 月 市立大洲病院訪問看護ステーション開設

3 研修実績

(1) 院外教育実績

月	研修会名	主催	研修者名
7 月	令和 6 年度 訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP1	リハビリテーション 専門職団体協議会	船田将吾
8 月	第 24 回愛媛県作業療法士学会	愛媛県作業療法士会	船田将吾
10 月	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	愛媛県看護協会	二宮真由美
	介護施設で働く看護職員等の研修支援事業 「在宅での看取りを学ぶ」	愛媛県看護協会	村上誠
11 月	日本在宅看護学会 第 14 回学術集会	日本在宅看護学会	井上晃子
	令和 6 年認定看護師管理者教育課程 ファーストレベルフォローアップ	愛媛県看護協会	井上晃子
12 月	令和 6 年度訪問看護におけるリスクマネジメント	全国訪問看護事業協会	井上晃子
R7.1月	医療コンフリクトマネジメント研修会	日本医療メディエーター協 会四国支部松山医師会	村上誠
R7.3月	令和 6 年度愛媛県難病専門研修会	愛媛県難病医療連絡協議会	井上晃子 二宮真由美 船田将吾

(2)教育研修実績

月	教育研修名	主催	研修者名
8月～12月	令和6年度訪問看護管理者研修会プログラム	愛媛県訪問看護協議会	井上晃子

4 その他活動実績

(1)委員

大洲喜多在宅医療・介護連携事業 運営委員	所長 井上晃子
南予訪問看護ステーション協議会	所長 井上晃子

(2)実習受け入れ

令和6年度「訪問看護人材育成基礎カリキュラム」修了に要する実習 1人

VII 財務の概要

1 損益状況

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和6年度	対前年度比
医 業 収 益 a	2,350,742	2,478,768	105.4%
入 院 収 益	1,235,597	1,382,007	111.8%
外 来 収 益	1,058,537	1,036,823	97.9%
そ の 他 医 業 収 益	56,608	59,938	105.9%
医 業 費 用 b	3,063,467	3,177,955	103.7%
給 与 費 c	1,721,797	1,832,385	106.4%
材 料 費 d	578,177	603,464	104.4%
経 費	454,296	460,445	101.4%
交 際 費	64	36	56.3%
減 価 償 却 費	275,219	272,229	98.9%
資 産 減 耗 費	26,159	1,016	3.9%
研 究 研 修 費	7,755	8,380	108.1%
医 業 損 益	△ 712,725	△699,187	98.1%
医 業 外 収 益 e	660,360	739,856	112.0%
受 取 利 息 及 び 配 当 金	0	4	皆増
他 会 計 補 助 金	398,849	509,769	127.8%
補 助 金	72,639	7,231	10.0%
長 期 前 受 金 戻 入	165,057	177,455	107.5%
院 内 保 育 所 収 益	1,524	1,227	80.5%
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	0	22,274	皆増
そ の 他 医 業 外 収 益	22,291	21,896	98.2%
医 業 外 費 用 f	127,440	150,339	118.0%
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	13,737	2,804	20.4%
院 内 保 育 所 運 営 費	17,075	17,061	99.9%
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 運 営 費	0	34,515	皆増
雑 損 失	96,628	95,959	99.3%
経 常 損 益	△ 179,805	△109,670	61.0%
特 別 利 益	38	50	131.6%
特 別 損 失	11,561	8,355	72.3%
当 年 度 純 損 益	△ 191,328	△117,975	61.7%
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	0	0	—
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 (未 処 理 欠 損) 金	△ 316,529	△434,504	137.3%
医 業 収 益 対 医 業 費 用 比 率 a/b	76.7%	78.0%	1.3P
経 常 利 益 対 経 常 費 用 比 率 (a+e)/(b+f)	94.4%	96.7%	2.3P
職 員 給 与 費 比 率 c/a	73.2%	73.9%	0.7P
材 料 費 比 率 d/a	24.6%	24.3%	0.3P

2 貸借対照表

(単位:千円)

区 分		令和 6 年 3 月 31 日		令和 7 年 3 月 31 日	
		金額	構成比	金額	構成比
資産の部	固 定 資 産	3,764,755	80.0%	3,529,648	79.5%
	有 形 固 定 資 産	3,763,551	80.0%	3,528,602	79.5%
	無 形 固 定 資 産	1,204	0.0%	1,046	0.0%
	投 資 そ の 他 の 資 産	0	0.0%	0	0.0%
	流 動 資 産	943,060	20.0%	906,396	20.5%
	現 金 ・ 預 金	491,297	10.4%	378,876	8.5%
	未 収 金	393,506	8.4%	473,613	10.7%
	未 収 金 貸 倒 引 当 金	△ 13,268	△ 0.3%	△14,769	△0.3%
	貯 蔵 品	69,413	1.5%	66,676	1.5%
	そ の 他 流 動 資 産	2,112	0.0%	2,000	0.1%
資 産 合 計		4,707,815	100.0%	4,436,044	100.0%
負債の部	固 定 負 債	1,303,960	27.7%	1,213,256	27.3%
	企 業 債	348,965	7.4%	266,579	6.0%
	リ ー ス 債 務	0	0.0%	0	0.0%
	引 当 金	954,995	20.3%	946,677	21.3%
	流 動 負 債	557,253	11.8%	503,600	11.4%
	企 業 債	285,514	6.0%	117,186	2.7%
	リ ー ス 債 務	0	0.0%	0	0.0%
	未 払 金	145,075	3.1%	245,705	5.5%
	未 払 費 用	0	0.0%	0	0.0%
	引 当 金	113,984	2.4%	129,059	2.9%
	そ の 他 流 動 負 債	12,680	0.3%	11,650	0.3%
	繰 延 収 益	1,285,401	27.3%	1,275,962	28.8%
	長 期 前 受 金	3,807,289	80.9%	3,955,523	89.2%
	長期前受金収益化累計額	△ 2,521,888	△ 53.6%	△2,679,561	△60.4%
負 債 合 計		3,146,614	66.8%	2,992,818	67.5%
資本の部	資 本 金	1,274,627	27.1%	1,274,267	28.7%
	剰 余 金	286,934	6.1%	168,959	3.8%
	資 本 剰 余 金	603,463	12.8%	603,463	13.6%
	利 益 剰 余 金	△ 316,529	△ 6.7%	△434,504	△9.8%
資 本 合 計		1,561,201	33.2%	1,443,226	32.5%
負 債 資 本 合 計		4,707,815	100.0%	4,436,044	100.0%

※ 構成比の計欄については、端数処理の関係で各構成比の合計と一致しない場合がある。

3 収益費用明細書

(1) 収 益

(単位:千円)

科 目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
病院事業収益	3,011,140	3,218,674	106.9%
医業収益	2,350,742	2,478,768	105.4%
入院収益	1,235,597	1,382,007	111.8%
外来収益	1,058,537	1,036,823	97.9%
その他医業収益	56,608	59,938	105.9%
室料差額収益	32,719	35,763	109.3%
公衆衛生活動収益	564	724	128.4%
医療相談収益	17,143	17,520	102.2%
その他医業収益	6,182	5,931	95.9%
医業外収益	660,360	739,856	112.0%
受取利息及び配当金	0	4	皆増
他会計補助金	398,849	509,769	127.8%
補助金	72,639	7,231	10.0%
長期前受金戻入	165,057	177,455	107.5%
院内保育所収益	1,524	1,227	80.5%
訪問看護ステーション収益	0	22,274	皆増
その他医業外収益	22,291	21,896	98.2%
特別利益	38	50	131.6%
過年度損益修正益	38	50	131.6%
その他特別利益	0	0	—

(2) 費 用

(単位:千円)

科 目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
病院事業費用	3,202,468	3,336,649	104.2%
医業費用	3,063,467	3,177,955	103.7%
給与費	1,721,797	1,832,385	106.4%
給料	840,653	869,968	103.5%
手当等	466,021	495,975	106.4%
賞与引当金繰入額	91,490	104,131	113.8%
報酬	109	0	皆減
法定福利費	230,171	232,840	101.2%
法定福利費引当金繰入額	18,439	20,007	108.5%
退職給付費	74,914	109,464	146.1%
材料費	578,177	603,464	104.4%
薬品費	288,674	301,454	104.4%
診療材料費	264,700	273,039	103.2%
給食材料費	22,714	25,614	112.8%
医療消耗備品費	2,089	3,357	160.7%

科 目		令和5年度	令和6年度	対前年度比
	経費	454,296	460,445	101.4%
	厚生福利費	2,313	2,351	101.6%
	旅費交通費	608	214	35.2%
	職員被服費	284	1,963	691.2%
	消耗品費	22,384	23,382	104.5%
	消耗備品費	667	495	74.2%
	光熱水費	57,626	64,509	111.9%
	燃料費	19,087	21,279	111.5%
	食料費	13	6	46.2%
	印刷製本費	2,431	2,304	94.8%
	修繕費	12,965	7,722	59.6%
	修繕引当金繰入額	0	0	－
	保険料	4,109	4,250	103.4%
	賃借料	28,822	27,424	95.1%
	通信運搬費	2,831	2,790	98.6%
	委託料	291,991	294,208	100.8%
	諸会費	3,226	3,201	99.2%
	貸倒引当金繰入額	1,500	1,500	－
	雑費	3,439	2,847	82.8%
	交際費	64	36	56.3%
	減価償却費	275,219	272,229	98.9%
	資産減耗費	26,159	1,016	3.9%
	研究研修費	7,755	8,380	108.1%
	医業外費用	127,440	150,339	118.0%
	支払利息及び企業債取扱諸費	13,737	2,804	20.4%
	院内保育所運営費	17,075	17,061	99.9%
	訪問看護ステーション運営費	0	34,515	皆増
	雑損失	96,628	95,959	99.3%
	特別損失	11,561	8,355	72.3%
	固定資産売却損	19	0	皆減
	過年度損益修正損	11,542	8,355	72.4%
当 年 度 純 損 益		△191,328	△117,975	61.7%

4 資本的収支明細書(税込み)

(1) 収 入

(単位:千円)

科 目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
資本的収入	350,387	216,515	61.8%
企業債	64,700	34,800	53.8%
企業債	64,700	34,800	53.8%
企業債	64,700	34,800	53.8%
補助金	283,660	181,715	64.1%
国庫補助金	0	0	-
国庫補助金	0	0	-
県補助金	149	4,121	2765.8%
県補助金	149	4,121	2765.8%
他会計補助金	283,511	177,165	62.5%
一般会計補助金	283,511	177,165	62.5%
その他補助金	0	429	皆増
その他補助金	0	429	皆増
固定資産売却代金	27	0	皆減
固定資産売却代金	27	0	皆減
固定資産売却代金	27	0	皆減
寄 附 金	2,000	0	皆減
寄 附 金	2,000	0	皆減
寄 附 金	2,000	0	皆減

(2) 支 出

(単位:千円)

科 目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
資本的支出	542,148	327,467	60.4%
建設改良費	72,843	41,953	57.6%
資産購入費	45,836	19,217	41.9%
器械備品購入費	42,685	19,217	45.0%
車両購入費	3,151	0	皆減
施設整備費	27,007	22,736	84.2%
委託料	0	0	-
工事請負費	27,007	22,736	84.2%
企業債償還金	469,305	285,514	60.8%
企業債償還金	469,305	285,514	60.8%
元金償還金	469,305	285,514	60.8%

5 経営分析に関する調

分 析 項 目		算 式	令和5年度	令和6年度	参考※
病床利用率	一 般	$\frac{\text{一般年延入院患者数}}{\text{一般年延許可病床数}} \times 100$	48.37%	55.10%	63.4%
	結 核	$\frac{\text{結核年延入院患者数}}{\text{結核年延許可病床数}} \times 100$	11.24%	8.70%	19.7%
	計	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延許可病床数}} \times 100$	46.39%	52.63%	64.3%
患者数 一日平均	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年間診療日数}}$	69.58 人	78.94 人	97人
	外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年間診療日数}}$	276.41 人	290.48人	257人
診療収入 一日当たり 患者一人	入 院	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	48,519 円	47,963 円	34,939 円
	外 来	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	15,760 円	14,689 円	10,081 円
医業収益に対する割合	投 薬 料 収 入	$\frac{\text{投薬料収入}}{\text{医業収益}} \times 100$	3.53%	2.82%	9.2%
	注 射 料 収 入	$\frac{\text{注射料収入}}{\text{医業収益}} \times 100$	6.78%	6.04%	
	検 査 収 入	$\frac{\text{検査収入}}{\text{医業収益}} \times 100$	11.17%	10.97%	10.2%
	X 線 収 入	$\frac{\text{X線収入}}{\text{医業収益}} \times 100$	4.02%	3.85%	4.5%
外 来 入 院 患 者 比 率		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	263.75%	244.97%	181.2%
外 来 入 院 収 益 比 率		$\frac{\text{外来収益}}{\text{入院収益}} \times 100$	85.67%	75.02%	54.5%
100床当たり常勤職員数	医 師	$\frac{\text{年度末各種職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	8.7 人	8.7 人	8.0人
	看 護 師		74.0 人	71.3人	51.2人
	准 看 護 師		0.0 人	0.0人	1.1 人
	事 務 職 員		6.0 人	6.0人	9.0人
	医 療 技 術 員		28.7 人	30.0 人	22.2 人
	そ の 他 の 職 員		0.0 人	0.0 人	3.3人
	合 計		117.3 人	116.0人	94.9人

分 析 項 目		算 式	令和5年度	令和6年度	参考※
薬品代 患者一人 一日当たり	投 薬	$\frac{\text{投薬薬品費}}{\text{年延総患者数}}$	936 円	824 円	421円
	注 射	$\frac{\text{注射薬品費}}{\text{年延総患者数}}$	1,798 円	1,763 円	1,381 円
検査等の状況	医業収益に対する 検 査 収 入	$\frac{\text{検査収入}}{\text{医業収益}} \times 100$	11.17%	10.97%	10.2%
	患者 100 人当たり 検 査 件 数	$\frac{\text{検査件数}}{\text{年延総患者数}} \times 100$	697.56 件	682.28 件	368.0件
	医業収益に対する X 線 収 入	$\frac{\text{X線収入}}{\text{医業収益}} \times 100$	4.02%	3.85%	4.5%
	患者 100 人当たり X 線 件 数	$\frac{\text{X線件数}}{\text{年延総患者数}} \times 100$	17.49 件	18.37件	19.0件
医業収益に対する材料費の割合	薬 品 費	$\frac{\text{薬品費(a)}}{\text{医業収益}} \times 100$	12.28%	12.16%	8.2%
	診 療 材 料 費	$\frac{\text{診療材料費(b)}}{\text{医業収益}} \times 100$	11.26%	11.02%	9.0%
	給 食 材 料 費	$\frac{\text{給食材料費(c)}}{\text{医業収益}} \times 100$	0.97%	1.03%	
	医 療 消 耗 備 品 費	$\frac{\text{医療消耗備品費(d)}}{\text{医業収益}} \times 100$	0.09%	0.14%	
	材 料 費 計	$\frac{\text{材料費計(a~d)}}{\text{医業収益}} \times 100$	24.60%	24.35%	17.2%

※ 参考は、令和5年度地方公営企業年鑑における同規模病院の数値である。

※ 分析値の計欄については、端数処理の関係で各分析値の合計と一致しない場合がある。

空 白